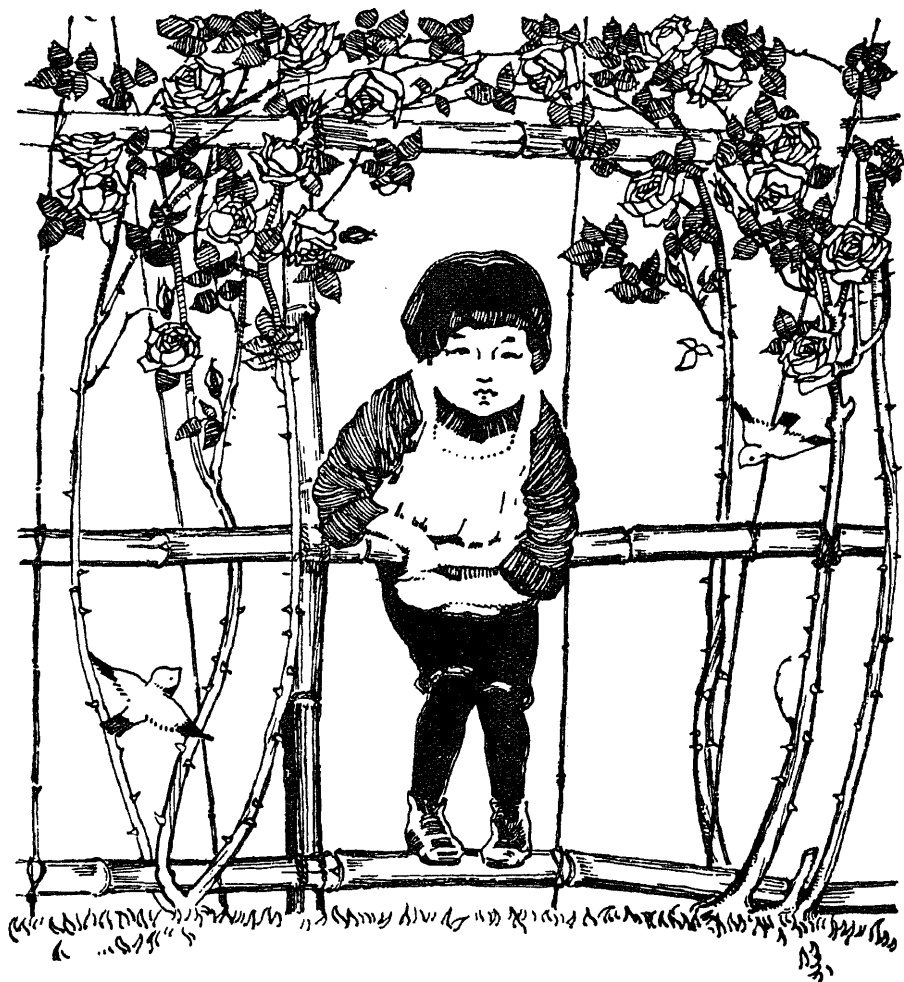


幼 兒 教 育

第 三 十 一 卷 第 一 十 一 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內
日 本 幼 稚 園 協 會

奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

▲四六判四百頁 ▲定價二圓八十錢
▲寫真挿繪入美本 ▲送料十八錢

幼稚園の經營

▲實際的保育方法を解説した新書 保育上の實際問題は訓練要目保育要目を初め總てを詳述解決さる。
▲現代幼稚園經營の模範的指導書 日本の上の實際的保育方法を究明詳述し更に歐米の新研究を配し完璧とす。
▲保母一人に必ず一冊必須の名著 幼稚園及託兒所の實際的保育指針として保母の必携すべき權威書。

【次目容内】

- 第一章 幼稚園經營概論
- 第二章 幼兒の眞生活幼兒の心身に付徹底的に闡明さる。
- 第三章 保育の眞髓保育方法に付實際的に指示さる。
- 第四章 家庭との連絡
- 第五章 躉け方要目(訓練要目)と其解説自由主義と要目主義との統合をなし實際方法を示さる。
- 第六章 保育要目と其解説自由主義と要目主義との統合をなし實際方法を示さる。
- 第七章 米國公立幼稚園に於ける最近要目の實例1 デンバー市公立幼稚園要目と其の批判
2 ヒルズ市公立幼稚園要目と其の批判
- 第八章 幼稚園の標準施設小學校時間割に似たること
- 第九章 幼稚園時間配當法との是非と其方案
- 第一〇章 幼稚園に關する諸規定保育上の難問題と其解決
- 第一一章 託兒所の經營近時傳達の託兒所經營につき詳述さる。

二十版 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著 定價三・〇〇 送料〇・一六

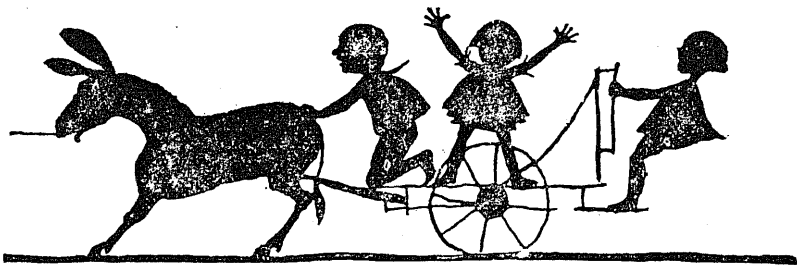
五版 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著 定價二・八〇 送料〇・一六

三版 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著 定價二・〇〇 送料〇・一六

五版 大阪家なき幼稚園長 大阪毎日新聞社顧問 橋詰良一先生著 定價二・五〇 送料〇・一六

東大 東阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區錦町三丁目九番地 電話一〇三〇七番
大阪市南區安堂寺一丁目二番八地 電話九五六番



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡郷甫

主幹 東京女子高等師範學校教授 附屬幼稚園主事 倉橋惣三

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、幼児教育ニ關スル研究及ヒ調査
- 一、幼児教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 一、幼児教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會長 一名 會務ヲ總理ス
- 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
- 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
- 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス



第 一 十 號 幼 幼 教 育 の 幼 兒 卷 一 十 三 第

— (次 目) —

口 繪 幼 兒 作 品、運 動 會

ひなた(卷頭言)

小學校入學の準備について……………堀 七 藏 (二)

ヒル女史小傳……………菊池ふじの譯 (一七)

シュデーヒル スクール(在ケンブリッジ)……………宇佐美 敬 (二六)

第五回全國幼稚園關係者大會……………(三)

童心を友として……………大塚喜一 (四七)

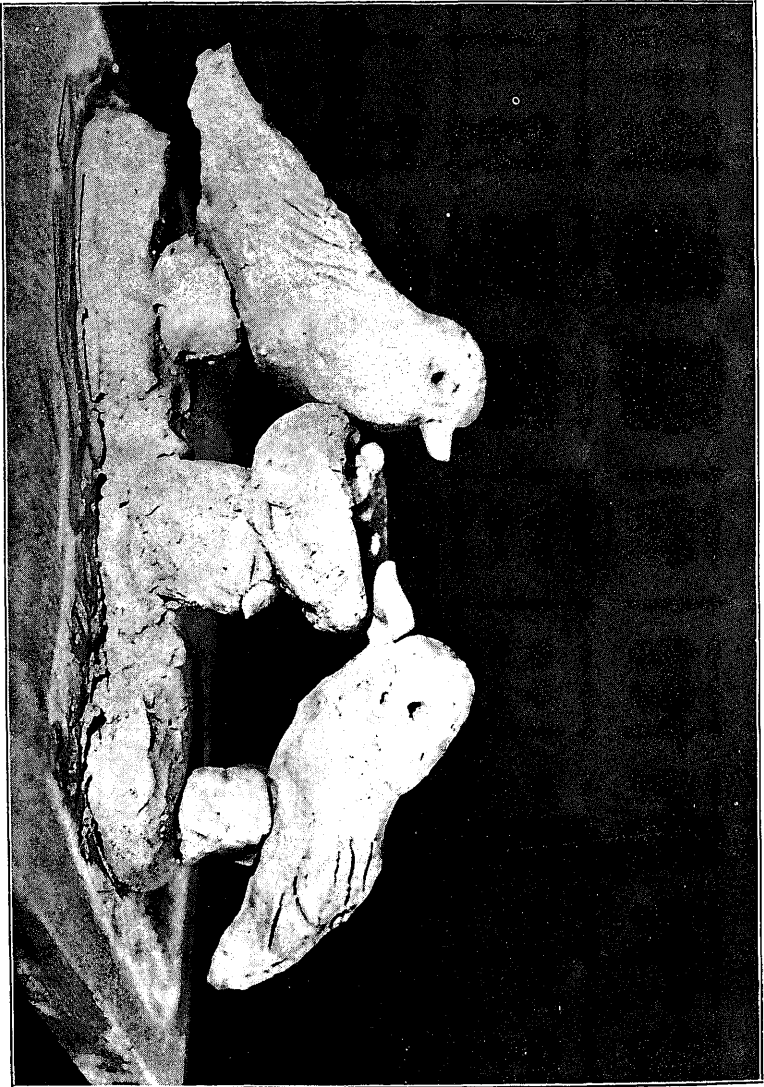
幼兒の心情陶冶についての經驗……………笠井しげの (五)

幼兒に適切なる唱歌の材料……………大阪市保育會 (六)

歌……………よ し こ (七)

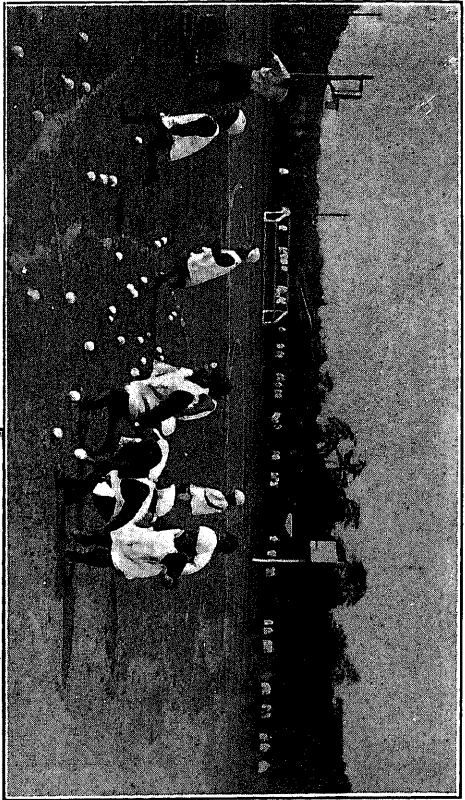
老若の男女……………氏 原 鏡 (七)

丸の動物……………及川ふみ (七)



幼 兒 作 品 (粘土)

(東京女子高等師範學校附屬幼稚園)



まり拾ひ競走

いうぎ



幼 児 の 教 育

昭 和 六 年 十 一 月

ひ な た

ひなた。——そこは庭でも廊下でも、なんと、やわらかく人をひきつけることか。

ひなた。——それは子どもでも大人でも、なんと、うつとりと人を睦ませることか。

ひなたには蔭がない。冷たさがない。明るく、暖かく、人の心を解き又溶く。自分への不用意、人への親しみ。眠りもせず、醒めすぎもせず。離れもせず。抱きしめもせず。たゞ、おつとりと、我れもなく他もない。

胸をあけて、肩を寄せて、足を投げ出して、手を組んで、のんびりと打ち集ふひなた。——幼稚園のひなた。ひなたの幼稚園。

小學校入學の準備について

附屬小學校主事 堀 七 藏

一

明年四月より尋常小學校に入學すべき幼児をもてる親は勿論、之が保育を擔當する幼稚園嫗姆に於ても小學校入學の準備を如何になすべきかは可なり重大な問題であらう。

小學校は義務教育をなすので市町村立小學校には學齡兒童を就學せしむべきものであるから、市町村役場ではそれ／＼學齡簿を作製し就學すべき學校を指定することになつてゐる。東京市では各區役所より、隣接町村では各町村役場よりそれ／＼四月より就學すべきことを通知するのである。これが就學通知と稱するものである。

而して學習院、女子學習院は別として東京高師、東京女高師、青山師範、豊島師範、東京府女子師範の各附屬小學校の如き特殊な官公立小學校更に慶應幼稚舎、成溪、成城、精華、高千穂、森村、曉星等の私立小學校に入學すべきものは二月十日までにそれ／＼入學すべきことの承認書を提出せねばならぬ

ことになつてゐる。それでかゝる特殊の小學校では多くは一月中若くは二月四五日頃までに入學せしむべき兒童の決定をなし、在學承認書を各保護者に渡すのである。各保護者は就學通知を受けた區役所又は町村役場に入學すべき小學校より受けた承認書を差出すべきことになつてゐる。かくせば區役所又は町村役場はそれ／＼どこの小學校に在學するかを學齡簿に記入して義務教育を受けつゝあることを明白になすのである。是等の就學手續は學齡兒童保護者が必ず履行せねばならぬ義務ともいふべき事項である。

また市町村立小學校その市町村居住者の子弟は必ず就學せしむべきもので、若しその市町村に數校の小學校を設立してゐる場合には豫め學校區域を定めて、その學區内の兒童を就學せしめるやうになつてゐる。従つて東京市などに於ては隣接町村の兒童が東京市の小學校に自由に入學することが出來ず、また他區の兒童を入學させないのである。例へば本郷區についていへば、本郷區以外の麴町、小石川等の居住者の子弟は入學せしめない。必ず本郷區に寄留するものでなくばならぬといふが如き内規がある。兒童の單獨寄留ではいけないとか、全家寄留でなくてはならぬとかいふやうな内規がある。また同一區内でも區役所の學籍係に於て指定した學校に就學すべきもので、保護者が自由に入學學校を指定することが出來ないのである。それで是等のことは學齡兒童をもつ保護者は一通心得置くことが肝要であり、従つて幼稚園嫗姆たるものはその受持幼兒の入學に關し、入學學校選定上、また入學手續上からそれ／＼

調査し置くべきものである。尙ほ参考のため小學校令施行規則にある入學に關するケ條を示す。

小學校令施行規則第八十條に

市町村長ハ其ノ市町村内ニ居住シ翌年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ヲ調査シ第九號表ノ様式ニヨリ毎年十二月末日マデニ其ノ學齡簿ヲ編製スヘシ、但シ第二十五條第二項（小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル、前項ニ依ル學年ノ外土地ノ情況ニ依リ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學年ヲ置クコトヲ得）ニ依ル場合ニ於テハ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スベキ兒童ヲ調査シ毎年六月末マデニ學齡簿ヲ編製スベシ

とあり、更に第八十一條には

市町村長ハ學齡簿編製後三月三十一日マデニ其年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スベキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルトキハ遲滯ナク之ヲ學齡簿ニ記入スベシ

とある。また第八十二條に

市町村長ハ兒童ヲシテ市町村立尋常小學校ニ入學セシムベキ期日ヲ豫メ其ノ保護者ニ通知スベシ
尙ほ第八十八條に

兒童ノ保護者ニ於テ其ノ兒童ヲ當然入學スベキ學校以外ノ市町村立尋常小學校ニ入學セシメ又ハ官立、府縣立學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシメントスルトキ若ハ高等學校及中學校ノ豫科又ハ盲

學校及聾啞學校ノ初等部ニ入學セシメントキハ其ノ學校ノ管理者又ハ學校長ノ承認書ヲ添へ關係市町村長ニ届出ツヘシ

とある。是等は保護者は勿論幼稚園姪姆に於ても一應心得置くことが肝要である。

一一

小學校入學の準備として幼稚園に入園させたいと希望する父兄が少くないが、これは大なる誤である。市町村立小學校は幼稚園に在園せると否とに關せず、就學せしめねばならぬし、官立小學校でも私立小學校でも幼稚園在園を條件として入學を許可するものではない。また小學校入學準備として幼稚園保育をなすものでもないのである、幼稚園は幼兒を保育してその身體精神を健全に發達せしめ、善良なる性情を養ふことを目的となすもので、官公私立小學校入學歩合が多いからとて優秀な幼稚園といふことは出来ない。けれども既に幼稚園在園の幼兒が凡て小學校に入學するものである以上、小學校入學のための準備となり、小學校入學後の學習上よい結果をもたらすことは幼稚園としても望ましいことであり、保護者が幼稚園に入園させる重要な一理由である以上、幼稚園としても小學校入學を無關心に考へることは出来ない。今日の保護者は幼稚園在園を以て甚だ重要な小學校入學準備と考へ、その欲する小學校に入學し得るか否かを以て、幼稚園の價值判斷の唯一の條件となす傾向が多いことは誠に遺憾といはねばなら

ぬ。従つて幼稚園は保護者の欲する小學校入學のために全力を擧げて準備をなし、幼稚園としての使命を没却するが如きことは十分警戒を要することである。とはいへ成るべくならば保護者の欲する小學校に入學せしめることが出来ればこの上もなきことである。これを以て小學校から中等學校への入學準備をなす程でなくとも、幼稚園に於て小學校入學の準備をなすことは蓋し無益の業ではないのである。

而して小學校が如何にして入學を許可するか、學校の事情によつてその方法がそれ／＼異なることがあるから幼稚園嫗姆の方に於てはそれ／＼各小學校の入學許可の方法を講究することが先づ必要である。私立小學校のあるものは家庭の情況によつて専ら入學許可をなすことがある、かゝる學校に入學を希望する場合には主として學校の要求するところを満足せねばならぬ。即ち學校維持の資金を提供するとか、有力者の紹介によるとか、それ／＼の適法を講ずることが肝要である。しかし附屬小學校などにて抽籤によるもの、檢定を行ふものにおいて公平なる態度に於て受験させることが必要である。別に情實關係によつて入學許可をなす學校はないのであることを念頭に置かねばならぬ。私立小學校と官公立小學校とは自ら學校の事情を異にしてゐるものであるから、私立小學校で當嵌まる事を一般に官公立小學校にまで押し擴げることとは却つて面白くない結果を生ずるものである。

例へば東京女子高等師範學校附屬小學校の如きは絶対に情實を排斥するものである。入學志願者を一月八日より二週間廣告によりて募集すれば、その募集期間内に必ず所定の様式による履歷書用紙を學校

から受取り、それに所要の事項を記入して提出せねばならぬ、一時間早くとも一時間遅くとも履歴書を受付けないのである。所定の受付時間内でなければ一切履歴書を受付けないことになつてゐる。その受付時間以外には決して受付けないのである。若し勝手に五分間でも十分間でもおそく受付けたりすることがあれば不公平な取扱となるからである。また抽籤も機械的に行ひ、決してその間に疑の存するが如き方法によらず嚴重に公平なる取扱をなすのである。世間には迷信があつて、抽籤に於ても籤運のよいものを頼んだり、天隕石を懐中すると籤が當るとか、或は祈願する時間の多少などを問題になす方が多いのである。しかし抽籤の當る當らぬは所謂公算論の研究に待つべきもので、そこに何等の人爲的な運不運を構成するが如きことを絶対にさけてある。

この故に抽籤の後に検定するものと、検定の後に抽籤するものとは多少相異なる所がある。大體検査によつて同一條件の兒童を選抜し置き、その中より抽籤を行ふものは一定の條件に叶ふ兒童を入學させるにはよい方法である。しかし抽籤後に検定する場合には機械的な方法で志願者を制限した後を選抜するもので、選抜を輕ずかることになるのである。それで府縣立師範學校附屬小學校などに於ては検定の後に抽籤する方法によることが多い、東京高等師範學校附屬小學校や東京女子高等師範學校附屬小學校では抽籤の後検定することになつてゐる。東京高師附屬小學校では抽籤の際に於ける當籤者は入學許可者の五倍位であるが、東京女高師に於ては當籤者は各一部一日に検定し得る數を限度となすが爲め、多くと

も入學許可者の約三倍を出ないのが普通である。何れにしても多くの小學校は毎年一月中に募集し檢定し或は抽籤し檢定することを十分心得置き、それ〴〵の手續を怠らないやうにせねばならぬ。故に十二月末には各小學校の入學檢定方法などを豫め調査し置くことが肝要である。

三

小學校に於ける入學檢定は多くは兒童の身體發育の情況を檢定する身體検査と、精神發達の程度を檢定する所謂智能検査とに分れるのである。勿論この外に年齢證明を檢することも必要であり、家庭の事情より兒童の性情を推定するが如きことも行はれる。學齡に達しない幼兒を入學せしめることは違法であり、満七歳や八歳になる年齢超過のものに入學許可をなすこともよくない。そこで年齢證明のため、戸籍抄本などを檢定の際提出せしめる場合があり、履歷書にいろいろの事項を記入せしめるのである。かかる履歷書は事實ありの儘を記載すべきこと勿論である。往々にして事實をまげて記入するが如き場合を見るも、それは以ての外の事といはねばならぬ。例へば履歷書生年月日に誤が記載してあるとか、戸籍關係に特に誤記をなすが如きことは十分慎まねばならぬ。

さて身體検査は何れも一月下旬などの嚴冬の頃行はれるので兒童には甚だ氣の毒な感を起すのである。殊に流行性感冒などにて檢定を受けることの困難なる場合がないでもない。かゝる場合にも無理押

しに検定を受けさすが如きは甚だ無暴の擧といはねばならぬ。病氣のものを強いて入學検定に出席せしめるが如きは、實にその兒の一生をあやまるが如き結果を來す場合が少くないから、かゝる際には思切つて受験させないことが肝要である。尤も病氣で検定の際缺席するときは、多くの場合、検定が無効となること勿論である。一人のために検定の結果をのばすことも出來ず、検定せずして判定するが如きことは公平を缺く處置といはねばならぬ、この故に入學検定を受けしめんとする兒童には特に注意して健康をそこねない工夫を行はねばならぬ。元來幼兒は健康によりてその氣分が著しく支配せられるものである。風邪の氣味だけにてても精神發達を檢定する場合にも大なる影響を來すものであるから、くれぐれも兒童の健康を害せぬやうに養護せねばならぬ。

凡て入學兒童の檢定は滿六歳の兒童として正常な發達をなしてゐるか否かを檢定するものである。滿六歳兒として身體が正常に發育してゐるか、精神が滿六歳兒として正常な發達をなしてゐるかを檢するものである。決して小學校入學後に收得する知識の分量を檢するものではない。従つて成人が考へるが如き高い程度の知識を檢定するものではない、滿六歳兒として身體活動に統制がとれてゐるかどうか、また身體の諸部分に著しき故障がないかどうか、また眼、耳、鼻、呼吸器等に傳染性の疾患がないかどうか等を主として檢するものであるから、平常より幼兒の保健に留意し、その身體發育を促進するやうに努力すべきものである。これは如何なる小學校に入學する上に於ても肝要である。特に發育不良で就學

に堪えない場合には特別な方法によつて就學猶豫の手續をなすことが大切である。

四

智能の檢定は勿論滿六歳の兒童として正常な發達をなしてゐるかどうかを檢するものであるから市町村立小學校に於ても入學の際、身體檢査を一齊に行ふと同様に、入學兒童の精神發達の程度を一齊に檢定し、その結果に基いて教育教授を行ふべきものである。特に入學の許否を判定するが爲めに智能檢査をなすが如きは、實は止むを得ず行ふもので、他に入學決定をなす便宜なる方法がない場合のことである。

そこで入學檢定をなす側に於ても滿六歳兒として正常な發達をなせるか否を檢定するが如き方法をとらねばならぬ。まだ小學校に入學しない幼兒を檢定するのに小學校教科にある知識の分量を以てするが如きことは誠に妥當を缺くものといはねばならぬ。即ち滿六歳兒として到底望むことの出来ないやうな問題を提出したり、また大人の力によりて準備し、恰も鸚鵡の如く表面的な暗記的知識について問答するが如きことは愚の骨頂といはねばならぬ。かゝる單なる記憶的な知識のみでは眞に精神發達の程度が判明しないからである。

それで小學校の入學檢定に於てはこの小學校でも滿六歳兒として正常な發育をなしてゐるか否かの

検定をなすことが肝要である。保護者や媒姆に於て入學検定の準備をなすに於ても、十分この點に留意せねばならぬ。即ち幼兒には受検することの意識が殆どないのが普通である。検定を受けるからといつて特殊なよそ行きの態度をさらせることは甚だ面白くない。日常の通り無邪氣に検定者に接するやうでなくてはならぬ。教師を馬鹿にしたりまた、甚だしく恐怖心を起させるが如きことなく、子供は子供らしく検定する人の間に答へるやうに躑ねばならぬ。「このボールを投げて御覽なさい」といふ検定者の命令に對して、「そんな小さなものは僕投げない。地球のやうに大きくなっては」なんて答へるが如きは、普通の幼兒ではない。大人の入智慧でなくば、餘程つむじ曲りのませた子供である。また「先生がお尋ねになつたらよく考へて答へなさい」と口くせの如く親が注意したために検定場で、一言も答へなかつたといふ子供がある。高が七つや八つの子供がそんなに教師の問を吟味して返事すべきものではない。何れ直覺的な判斷しか出来ない子供なのであるから「よく考へて、よく考へて」と注文すれば、結局一言も答へないといふことになるのが普通である。それであるから入學検定に臨む兒童には決していろ／＼の無理な注文をなしてはならぬ、只はにかんで他人には物を言はないといふが如きことのないやうに、ふだんより相當に躑ねて置かねばならぬ。

従つて入學準備としては殆ど行ふべきことがないので、たゞ毎日の生活に於て幼兒の事物の觀念を明白になすとか、數量の觀念を明白になすことが必要である。子供の周圍にある事物の名稱やその性状を

問答してその觀念を明白にすればよい。決して多くの知識を授けて無理な記憶を強いるが如きことは殆ど價值がない。それで實物を觀察させつゝ、その相異點を問答するが如きことは大變よいことである。林檎とお蜜柑とどこがちがつてゐるかとか、お茶碗とお皿とどこがちがつてゐるかとか、匙とお箸とどこがちがつてゐるかといふやうな、日常の事物について食後などに問答する位なことは入學準備といふ程ではないが、誠に望ましいことである。また發音の練習をなすとか、繪ときをなさせることなどもよい。或は簡単な直覺的判斷を行はしめるとか、用事を二つなり三つなり言付けて、それを行はせるとかいふが如きことは滿六歳兒として正常な發達をなさしめる上に於て必要な教育法である。

また數量についてもその觀念を養ふことが大切であるが、無理に數詞を澤山いはせても、また計算を行はせても殆ど役立たぬ。滿六歳位の幼兒で百まで數へられるといつて、一つ二つと空に百まで繰返すとも、それは殆ど價值がない。寧ろ實物をどこまで正しく數へられるかを練習させるがよい。また三に四を足すが如き十以下の加減を實物によりて數へ足すとかとるとかすることを練習させるがよい。後には三と四とで直に七と答へ得るやうになることは勿論必要である。また量の大小についても相當な程度に判斷し得るやうでなくてはならぬ。兎に角滿六歳兒の常識を専ら檢定するものであるから、大人の無理な入智慧は却つてよくないのである。小學校入學檢定に於ては直に機械的な準備が分るのである。檢定者の間に答へずして専ら父兄などから準備せられた事項について説明してゐるといふ滑稽は實に多いのである。

五

多くの娈母や保護者などが小學校入學検定の問題はどんなものかを尋ねられるのであるが、それは至極簡單なものである。所謂滿六歳兒としての知能検査の程度に止まること勿論である。ビニー及びシモンの兩氏が一九一一年に知能検査として實地に適用した結果によりて改訂したものは次の如きものである。その中滿五歳兒、六歳兒、七歳兒、八歳兒のものを示して知能検査はどんなものかの標準を示すことにする。

五歳兒の検査法。

第一、二個の重量を比較させること。先づ三瓦及び十二瓦の立方形の箱を被検者の面前五糎の處に置き、孰れが重きかを問ふ。そしてそのなす所を注意して觀察するのである。即ち一つ宛左右の手に持ちてその重さを比較するか、二つ共一方の手に持つか、或は全く手に觸れずして判断するか、若し後の二法の孰れかによつたときには第一法の正しきことを教へ、更にその爲すところを見るのである。尙ほ六瓦及び十五瓦。三瓦及び十五瓦のものに就いて検することが必要である。

第二、正方形を描かしめること、一邊の長さ約四糎なる正方形をインキで描き、之を手本として模寫させるのである。ペン及インキを用ひしめて鉛筆を許さず、その出來榮えによつて合格と否らざるもの

を定めるのであるが、これは我が國の兒童には困難である。鉛筆で描かせてもよい。

第三、十音節の文句を讀みきかせて直にそれを反復させること。

第四、机上に一錢銅貨四個を竝べおきて、「一錢がいくつありますか、數へてごらんなさい」と命ずるのである。兒童は指にて一、二、三、四と明瞭に數へるとよい。お金を取扱つたことのない子供には一錢かどうか一寸分らないことがあるかも知れぬ。

第五、二個の知恵板にて長方形を作らしめること。八糰に十四糰厚紙二個を用意し、その中一個は一對角線に沿ふて二片に切放ち之を机上におく。但し切放ちたる方は斜邊が互に接せざるやうになし置くことが必要である。「この二つであの形(長方形の厚紙を指す)を作つてごらんなさい」と命ずる。四歳兒にしてこの検査に合格するものは三人中一人はない、但し五歳兒にあつては十二人中一人以上の不合格者がないといふのである。

六歳兒の検査法。

第一、朝と夜とを區別せしめること。

第二、有り觸れたる事物を用途によりて定義させること。定義させる事物は(1)肉叉、(2)机、(3)椅子、(4)馬、(5)御母さんとする。用途による定義とは「椅子は腰をかけるものなり」の類をいふのである。それで初めにその物を知つてゐるか否かを確め、然る後「それは何ですか」と問ふやうにせねばな

らぬ。若し躊躇したるときは他の例につきて答へ方を教へてもよいのである。

第三、三角形及菱形を描かしめること。

第四、一錢貨十三個を一行に並びおきて數へさせること。

第五、美的の見地より二個の畫を比較させること。美醜二つの畫を示し、孰れが美しきかを問ふのである。五歳迄は正答を與ふるものは約半数にすぎない位である。

七歳兒の検査法

第一、右の手、左の耳を指させること。

第二、繪畫を示して敘述させること。

第三、三種の命令を同時に與へて遂行させること。例へば「この書物を書棚に載せて下さい。それから窓の障子を閉めて下さい。それから窓のそばの机の上にある紙を私に持つて来て下さい。分りましたか。本を載せて、障子を閉めて、それから紙を持つて來るんです。サア」と命ずるのである。六歳以前の兒童はこの検査には合格しないものである。

第四、貨幣を數へしめること。壹錢貨三個、貳錢貨三個を机上に並び、その和を問ふのである。時間は十五秒限り。八歳兒の正常なるものは必ず合格するが七歳兒としては一寸六ケしいものがある。

第五、四種の色を區別せしめること。色の種類は赤、黄、青及綠とし、大きさは二種の長方形とする。

時間は六秒限り、全部正答を要するのである。

八歳児の検査法。

第一、記憶によりて二個の物體を比較し、その差異をいはしめること。紙と布、蠅と蝶、硝子と木片の如きものである。「差異をいふ」といふ意味の分らぬもの、差異を答ふるも、その内容に誤りあるものは共に不合格となすのである。

第二、二〇より逆に〇まで數へしめること。

第三、未成の畫を示してその缺損せる點をいはしめること、線畫四個を示し、その一つ／＼に就きて「何が足りませんか」と問ふのである。正解を得たる後も、「外に足りないものはありませんか」と問ふ。

四中三の正答を與へたるものは合格とする。

第四、完全に年月日をいはしめること。即ち何年何月何日の何曜日なるかをいはしめるのである。

第五、五個の數字を反復させること。例へば三・七・六・四・九の如きである。一秒に二字の割合にて調子をつけずいつて明にきかすことが條件である。是等の智能検査の方法は我が國にて適用するに多少不適當なるものもあるが、大體に於て入學検査などに精神の發達を検するものとしては妥當なものが多くのである。従つて是等の方法によりて時々幼兒を検査することは入學準備の一となると共に、兒童の發達を検し、その教育法に工夫する方便となるものである。

ヒル女史小傳

菊池ふじの譯

「アメリカンチャイルドフー」九月號より

バテイ、スミス、ヒルは八歳になつた時、自分は大人になつたら子供の爲に働かうと、心の中に誓ひました。彼女は、棄兒

兒養育院を設けて、棄兒達に幸福な幼年時代を過させてやり度いと思ひました。今にして思へば結局この念願がヒル女史の一生涯の運命となつたわけです。今日の幼児教育



「アメリカに於て發達した近代學齡前教育運動の團體及びコロンビヤ大學の師範大學内の兒童」

云ふことであります。ニューヨークにある女史の事務室からは、廣々

現なのであるが——等より、最も敬愛されて居るヒル女史の大なる願ひは、幼児改善運動を續けながらよくその結果を観察し、この運動が幼児の改善上にもたらず確固たる効果を、責任を以つて證明し得るためには、もう百年ばかりの日月が欲しいものである、と

一 界竝にアメリカに於て發達した近代學齡前教育運動の團體及びコロンビヤ大學の師範大學内の兒童

ニューヨークにある女史の事務室からは、廣々

とした緑のコロンビヤ廣場が見渡され、壁や、机等には、子供の氣持を表現して居る様な繪が掛けられてありますが、こゝで椅子に凭りながらヒル女史は、自分の幼時や幼児教育界の中心としての現在の位置に至るまでの長い廣い過去に就て語りました。

女史は、ケンタッキ州のルイズヴィル地方に生れ、二人の男の子と四人の女の子の六人の兄弟姉妹でありました。女史の幼年時代は至つて平和で、困難も束縛もありませんでした。女史は特にこの事を強く云つて居ります。父のヒル博士は、長老教會派の牧師でありましたので、當時起つた南北戦争に従軍する資格がありませんでした。併しどうかしてその復興時代へ何等かの貢獻を致し度いものだと考へた末、ケンタッキ州のルイズヴィル地方の南部の娘達の爲に、自費で大學を設立いたしました。その當時に於てさへもヒル博士

は婦人の高等教育は必要であると考へて居ました。博士は、充實した生活、自由な生活、有益な生活をするためには女子も亦男子と同様に職業の準備をすべきであると考へました。それ故に博士は自分の家庭に於ても女の子は男の子と同様に社會の仕事にたづさわられる様にと云ふ理想を以つて育てたのであります。

ヒル夫人も亦、吾が子の教育に就いては夫君と同じ様に進んだ理想をもつて居りました。暫くの間、夫人は大學寄宿舎の舎監をいたして居りましたが、後になつてこの職務を持つて居る事は、自分と子供との生活を妨げる事が多いと云ふ事を悟りました。夫人は其當時の風習の様に、子供達の世話を子守女に一任する様な事は決して致しませんでした。夫人は結婚前、父の教へに習つて奴隸達に讀み書きを教へました。極く幼少の時に両親を喪つた事と、其後、凝り固まつてる、人のいゝ

併し嚴格過ぎる母方の叔父の家庭で受けた抑制は、吾が子の教育方針を決めてしまひました。この家庭の子供等は何よりも先づ第一に、責任感が強くあり、役に立ち得ると同時に幸福にされねばなりません。次に其時代は、訓練的價値を重んじた爲に、世の中の面白い事、楽しい事等を犠牲にする習慣であつたのですが、この家庭では、こゝにいふ事は許されませんでした。半世紀も昔に既にこの母は「遊び」の心理學及び哲學を實際に適用出来るさうな説として認めて居り、子供達の教育に當つては健全な自由な行動と思考を持てる子供にしようとしてそれを應用して見ました。ヒル女史の今日かち得た成功の大半は、實にこの母に負ふて居るのでございます。

快活で自由でしごとやかで、幸福な心に輝いてゐるこの若い南方の娘ヒルは、十八歳になつた時自分の周圍を見廻して、幼い子供等が大人の欲求の

形にあてはめられて居るのを見ました。訓練、不活動、機械的學習、是等は當時の學校のスローガン(標語)でありました。子供等はじつとして居て活動したり物を云つたりする様子は見られません。南北戦争のもたらした種々の困難は南方にも及び、その結果榮養不良が續出し少年労働者の不幸となり幼児の死亡率が高まつてまゐりました。こんな状態が、ミス、ヒルの心に深く印象づけられたのであります。併し丁度好都合にも、幼稚園並に低學年の爲の立派な教員養成所がアンナ、ブライアンに依つてルイズヴィール地方に開かれました。それは丁度、ミス、ヒルがルイズヴィール大學を卒業して、子供を救ひ、保護し、子供の幸福のために働き度いと云ふ一生の方針を決定する問題に直面して居た頃でありました。茲に愈々ミス、ヒルの念願が到達する機會がまゐつたのであります。音楽、手工、お話、遊戯等が、昔

流の形式的教育方法に代らねばならなくなつたのであります。

ヒル女史は此所の幼稚園に新たに練習學級を作り、自らその保母となりましたが、間もなく實際訓練に就ては他に及ぶ者ない立派な保母となりました。處で此の南方の娘ヒルはこれ位の所で満足しては居ませんでした。即ち間もなく女史は、女史の持論たる自由説を幼兒教育に應用することを先生と共に實驗して見て、遙かに其先生を凌ぐ結果になつたのです。ヒル女史は、當時どこの幼稚園でも備品となつて居た小つばけな積木をば、この次には斯ういふ風に組立なさいと順序を追ふてさせる所謂「因果的連鎖法」でなしに、子供達の思ひのまゝに組立てさせ、後年作業に於ても遊戲に於ても所謂「プロジェクト」式と稱せらるゝ方法を子供達に授けたのでした。子供達に道路だの卓子だの厩小舎だの拵へ方を教へることの巧拙が、

保母の技倆を批判する標準となる程根本的に必要なものであつたらうかと云ふ事は、今日の我々には殆んど信じられないことです。併し實狀は正に斯くの通りであつたのであります。幼兒達に、積木、粘土、綺麗な色紙、色鉛筆などの材料を興へて、思ひのまゝに「自己」を表現させ様とする女史の意圖は、やがて彼女の町以外の幼稚園、否、世界の幼稚園界に、その責々たる名聲を博せしむる因を成したのであります。ところで此の頃女史は、或人の訪問を受けました。その人は女史の教育上の實驗を參觀しに遙々シカゴから來たのでした。

この參觀者こそ當時の教育大指導者カーヌル、フランシス、バーカーだつたのです。ヒル女史が自分の幼稚園で幼兒達に實驗して居た事をば、バーカー女史は、シカゴの米國最初の模範學校で少し年長の子供達に施してゐたのです。即ちヒル女

史もパーカー女史も、子供の内にある「活動せんとする衝動」は教育上に利用すべき一項目であり、又學校の任務として是非容れる必要があるものと云ふ事を信じもし、又教へても居たのでした。ヒル女史と、アンナ、ブライアンとは、當時の大心理學者の一人たるマサチューセツ州、ウースタアのスタンレー、ホール氏の激勵と協力に援けられて、更らに別な革新的な新説を主唱、提出しました。以上の三人は當時、ウヰリアム、バーンハム博士と共に、母親と教師との兩者のみで、子供に最も完全な普遍的な發達を遂げしむる事は不可能だと云ふ説を斯界に提出しました。是等の人は子供とは一の複合的な有機體であること云ふ事を主張し、又是等の有機體、即ち一の「完體たる」子供は、單に教師のみならず、醫師、榮養學者、社會勞働者、心理學者、精神衛生學者並びに藝術家などの、最善の思案と注意に俟つものがあるこ

とを主張したのであります。子供が語學を覺えたことの程度が「マックス、ガフイー」を讀み返した回数に依つて計られた當時、又健康調査が學校に於て未だ行はれなかつた當時、又、薄い厚紙に輪廓を畫きその下繪に針で孔をあけたり、それを絲で縫つたりする事位が幼稚園兒の藝術的表現の一訓練であつた當時にあつては、ヒル女史等の以上の主張は殆んど異端説も全然であつたのであります。

一八九三年シカゴに開催された世界博覽會は、正に擡頭せんとするアメリカの象徴でした。即ちアメリカ人が最早一國民として獨歩出來る事の證明であつたのです。時にヒル女史は未だ妙齡であつたにも拘らず、年齢以上に聰明でありましたので、シカゴでは無論の事、南方一帯に眞の使命を帯てる保姆としてその令名を知らるゝ様になりました。其後女史は教育會館で自己の實際研究の結

果を發表しました。其れに依りますと、幼児と云ふものは、若し自由に自分達の考を立案し、まごめ、そして之を表現する事が出来る様な状態に置かれるならば、創造的な作業を製作し得るものであるといふ諸例を示したのでございます。此の「自由」は幼稚園運動の所謂先覺者達に依つてやかましく批判されたのでありますが、この先覺者達こそ、フレーベルの方法だけは把握してゐなければ、その最も重要な使命、即ち「吾々は幼児の先導^{リイダ}することゝに隨はねばならぬ」と云ふフレーベルの教育精神を眞に會得して居らなかつた人々なのでした。往年の獨逸神祕論者たるフレーベルの此の教育精神こそ、今日の全初等教育體系に普ねく滲透し、又之を教化して居るのであります。ヒル女史は、始めて教職に就いた日から、幼稚園の積木、棒切れ、嵌木細工、刺繡針等を超越して、宛ら豊饒な土壤に蒔かれそして慈しみ育てられた

種子の如くに幼児が成長し、爛漫と花咲く現今の幼稚園の保育室——生彩あり。色彩あり、活氣あり、朗かな歌聲のある——を見越して居たのであります。

ヒル女史は多年彼女の進歩的理論を攻撃する批評、反駁に對し、如何にして之を論破したかど問はれた時、女史の答は簡單でありました。即ち「私が私自身と私の協力者との爲めに作つた標語は「汝の反對者及び過去の考へ方と争闘する勿れ。汝の信念、汝の努力、全てを盡して唯、之を現在及び將來に注げ」と云ふのであります」。

此の樂觀的に前途を凝視する、と云つた様なヒル女史の態度こそは、女史の一生涯の特質であつたのであります。女史が、この見事に功を奏した保育法を創めてから今年までに四十三年の歲月が流れました。過ぎ去つた一九〇〇年頃の教育界に於て女史の仕事が批評を惹起して以來、女史は今

日に至るも孜々、たゆみなく進歩を續けて居ります。女史は一九〇五年以來、コロムビア大學師範大學部の教授となつて居ります。尙ほ此の國際的に著名な教育中心地たるコロムビア大學に在つては、教授たる事の權威を完全に維持するため婦人等の教授數は極めて少數に限定されてあります。昨年(一九三〇年)の秋、同大學が創立一七五周年記念祭——同大學独自の立場に榮譽を與ふるところの——を舉行した際、ヒル教授は名譽學位を授與されました。尙ほ此際に唯一人の婦人が同じ學位を授與せられて居ります。

女史の洞察力はフレーベルの哲學に徒らに追從する事よりも寧ろ解釋を誤らしめませんでした。女史は同哲學の特性を述べて『フレーベルの傳記を讀んで見ると、彼は自己の教育案を完全なものとは考へてゐなかつた。彼は母親や教師達に絶間なく材料を送り、之を實驗して見て批判をして呉

れるやうに奨めてゐた。彼の後繼者達は斯かる新鮮な、冒險的な精神をうけついでにはゐなかつた。彼の未完成的な實驗は、彼等後繼者からは徒らに禮讚の的として取扱はれてゐた。彼等の幼稚園運動の目的は教育の進歩的な計畫とはならないで、種々の制度となつてしまつた』と云つて居ります。

ヒル女史は以上の如き聰明な見方を以て、我が急進的教育論者達——嘗ては嘲笑せられ、今日は尊崇せられて居る哲學者達——の學説を自らも確信し、又自らその學説の一半を分擔して居るのであります。元來ヒル女史は、カールパーカーと共に、シカゴに在る有名なクック州の師範學校に學んだのでした。女史は、ジョン、デュキーから「幼兒教育に於ける指導的原理は、標準化された實行ではなくて、創造的思考でなければならぬ」と云ふ事を教へられました。女史は又スタンレー、ホルルの許に研究して、當時の新兒童研究及び課程

變更の必要、融通の利く設備、材料の必要などを知る様になりました。女史は更らにウキリアム、ゼームス博士の許に研究しました。女史は、ホール

博士の一門下生の創めた、他に比類なき獨特な遊戯學校のある事を聞き及びました。そのホール博士の門下生と云ふのは、遊戯活動といふものが心理學的に重要なことを認めて、ホール博士の玩具心理に就ての學説を敷衍した人なのでした。此の遊戯指導者はルーサー、ギューリック博士と謂つて、一八九八年にヒル女史と共に研究して、幼稚園の大まかな遊戯材料の問題——特に大型の積木——を解決した人でした。幼兒教育に關する凡ゆる斯かる實驗は、今日では動かすべからざる事實であるが、當初ヒル女史を除く他の教師達は、心の中に込み込んでゐる傳統に出發して居たため、誤謬以前の何物をも殆んど解さぬのでありました。

女史は、幼兒期の見方を、今までの傳統的な見方や方法から離脱する事に費した昔の努力に就て、次の様に云つて居ります。

『私が最初、自由に材料を選択させ、又それを自由に用ひさせ様と試みた時、その新しい試みの場所を、學校とも幼稚園とも思ひきつて云はずに、論争を避けるために、「遊び部屋」と呼びました。私共は各々の子供についてその結果を記録し漸次、自由とは不秩序を意味して居るのではないと云ふ事を、證明いたしました。事實「遊び部屋」や「遊び場」で四年間この試みを實驗した後、其結果が認められてか、ホレース、マン幼稚園から招きを受けました。そしてその小さい組の子供等に之と同じ試みをして欲しいと頼まれました。この頃まで私共はジョン、デューキーや、後にウイリアム、キルバトリックと云ふ様な人達から激勵を受けて居りました。是等の人達や、他の多くの人々

は、私共の試みを見に人を寄こし、私共の實驗に證明を與へて呉れました。併し過去のどの場面を顧みても實に激しい闘ひを経て來たものです」と。

子供等に就て行つたこの測定や、創造的努力に就ての是等記録は、學校に於ける測定計畫の導火線となりまして。最近十年間に、この計畫は一般に廣く適用されるまでに進んだのであります。

併し此處で再びヒル女史は自身身をたしなめて居ります。即ち女史は當時の教育上の測定運動を喜んで自ら試みもし、又その運動を普及せしめ様と協力して居りながらも、メンタルテストは失敗し易いものであると云ふ事を信じてゐました。そして曰く『私は生徒達に時々云ふのですが「能ふ限り何事でも測定してごらんなさい、併し測定出來ないからと云ふ單なる理由でこれをあきらめてしまつてはいけません」と。私共は新しい道具を扱つて見るだけであります。私共の信條が見出せない價值

が尙まだ澤山あります』と云つて居ります。

先頃、米國に開かれました第四回世界教育聯盟會議に不肖私が日本代表として參列の光榮を得ましたが、幸に各位の御支援によつて聊か幼児教育に關する日常の卑見を同會議に開陳することができましたのは誠に感謝に堪へぬ所であります。其後米國各地並に歐洲各國の幼児教育の狀態を視察し、本日靖國丸で歸朝いたしました。

出先及留守宅に對し、種々懇なるお言葉を賜りました皆様に、茲に不取敢お禮を申し上げ、併て右歸朝の御挨拶を申し述べます。

昭和六年十一月一日

フレイベル館

高市次郎

シエデーヒル・スクール

(在ケンブリッジ)

二六

宇佐美 敬

ケンブリッジの町はづれにある最も新しい研究の實施されてゐる有名な學校であつて、私が在來

中訪問して學ぶ所の多く且つ十分満たされた一つであります。時恰もクリスマスの休日に入る前々日でありまして、學校をあげて其祝賀の準備にいとがしい時であり、また、先生にも幼兒にも、生徒にも最も楽しい時期でありました。かねて今日の參觀の約束をしてありましたので、校長は、御自身の親しき友人と一日私の爲めに依頼され、私が學校に到着の時はずでに、其方がまつて居られました。

校舎及び園舎は廣い敷地内に、木造平屋建數棟、

廊下續きも建つて居ります、庭は冬枯の野原の感じ、如何にも自然のまゝであります。

校舎は幼稚園と一年とが一棟、二三年、四五年、六七年、其他にカーペンター(立派は大工工場、其處には澤山の木材が貯藏もしてあります) 勿論各棟は教室だけでなく、音楽室、物理化學、地理教室等、その他圖書室、事務室があります。

まづ幼稚園に就て述べてみますと、幼兒數十五人、主任と助手一人、徹底した自由で、晝架に向ふ人、床の上で繪をかいてゐる人、積木で遊ぶ人、例の大人の鋸で厚い板をぐし／＼ひいてゐる人、立派な頑丈な、レターボックスにペンキを塗つて

ゐる人、皆無言で、せつせと自分の仕事をして居ります、面白い事には小さいお料理場がついて居て、其處で先生は二三の女兒を相手にゼリーをこしらへて居られました。此部屋ではクリスマスマストリーの裝飾は殆ど完成して居りましたが、他の凡ての教室でも見た事がありますが、貧しいお友達への送り物が色々の美しい色紙に包まれてテープでいはへてあります、大きい人達は自分の作つたものが重でありますが幼稚園では皆自分の玩具と家から持つて來て包装してクリスマスマストリーの下に積み重ねてあります。

十時四十五分からレストタイムで一年生も同じ時間に幼児と同様に休みます、マツトのはいつてゐる戸棚が同じ廊下の一隅にありますので中々の混雑です、併しよく互譲してあせらない所はいつもの事ながら感心する點もあります。

レストタイムの後牛乳を一杯飲みます、先生の

こしらへて下さつたゼリーはお歸りに皆持つて歸るといふ事でありました。

そのあとでリトミックの先生がピアノの先生と一緒に來られて指導されましたが、此處で觀た教授法も最も幼児に適合しました最も勝れたものである、其必然の結果として其に満足した幼児の狀態を見て愉快に思つたことであります。

先づ先生がピアノを116の拍子で弾かれますと、今迄の遊びからはなれて、自由に部屋の中を軽く駆け廻ります、次に静かな曲のピアノを聞きながら先生の命令で皆仰臥します、此は全身の力をぬいて居ります。先生が各幼児の腕や、脚を持つて、力がぬけてゐるかどうかを試験されます、やがて先生が其曲に合せてララララ、と歌はれますと幼児は皆鼻で歌ひます、静かにくつき上り腕をあげ、また静かに腕を下して普通の姿勢にかへつて歩き始めます、實にむづかしい曲に合せて行

進みます。また仰臥して背骨の運動を曲に合せて静かに、随意の形でいたします。次に幼児は小鳥のつもり、熊のつもり、お魚のつもりといふ風に種々の姿態をとつて運動いたします。次に幼児は樹木になり風に吹かれる所、ピアノの拍子、強弱によつて運動する身體の部分が、別であると同時に形が異なります、幼児各自は全く自分の好む姿態をとります、微風からだん／＼強風にふるやうで椎木の根も中々ぐばかりに吹きまくられる、其愉快氣に全身の力をぬいて、ピアノのま／＼に身體をゆるがす所、一人一人の形が實に面白いのです。次に先生がゴム風船を皆に渡される、皆嬉しげに色とり／＼の風船をつきます。拍子の練習であります。約三十分息もつきあへぬ頃から次の運動で、見てゐる方も實に面白かつたのですが、幼児の満足が思ひやられたのであります。主任の先生の言はれますのに、アメリカの小兒は大體に神經

過敏であるので、常に環境を静かに考へてゐる、尙リトミックは此點に效果の大なる事を認め、毎日三十分づつ課してゐると云ふ事であつた。

此學校の教授様式は現時のアメリカに於て新しき研究として重んじられてゐるものであります。が、今此處に實際を參觀しながら見聞しえた所だけを記す事いたします。

各學年に一年を通じての題目がきめられ、其題目の研究を目的として各學科の教授がなされるのであります、試みに各學年に就て其題目を記しますと、一年生、インデヤ、二年生牧畜の生活、三年生地理、地勢の實際觀測、ボストンの海岸から始め地圖の作製をいたします、四年生、世界の北部、スコットランド、スエーデン、ノールウェー等の住民の生活、五年生ギリシヤ文明の研究、六年生七年生、現代の文明にはいるといふやうになつて居ります。

其理論と實際に就ては詳しく研究の暇を持ちえなかつたのと、また其時校長がプリントを要求する人が澤山あるから何れ郵送してやること約されたものをまだ手に入れえないために記述する事が出来ませんが、要するに兒童の心理發達に順應する

極めて効果的の教育法として考へられてゐるのであります。一年生、二年生に就ては幾分實際を見聞する事が出来たのでありますが、一年生の教室には大きい砂箱があつて其處に、インデヤンの小屋が幾つか粘土で出来て居り、また其周圍の光景が表はされて居ります。四圍の壁には、其に關する種々の繪が掛けてあります、先生は兒童の興味を持ち、理解し得る程度に此問題を取扱ふのであります。其材料の蒐集、研究は私共がするご先生がいつて居られました。此日は前述の通り、クリスマスの準備で（重に送る物の始末）いそがしくその實際の授業は見る事が出来ませんでした。

ガウンを着た先生は實にいそがしく仕事部屋で小兒と一緒に働いて居られます。まだ親しき者への贈り物の完成しない小兒は殆どむちうであります、主に木工で種々の箱をこしらへて居りました。

二年生の教室の一隅の砂箱には羊の群が歩いてゐる所、テントがあり、小さい小屋がある、羊は粘土で作つたもの或は玩具もあります、此組は春になりますと庭に家を建てる、羊を追ふて居を移す羊牧者ヒツジカヒの生活を實際に經驗する爲めに、自分の建てた家に一夜を過ごすのだといふ事であります。その家の設計圖から入用の木材の算出皆生徒自身がする、一人の男生が私に、自分のデザインを見せてくれました、勿論簡單なものであります、またその生徒は春の小屋の爲めに、箱を苗床にして種子を蒔いてすでに小さい芽の出でゐるのを見せてくれました、計畫的作業の喜びの深さ此

を男兒の表情に見た事であります。とにかく自分で圖をひき、板が何枚入用かを計算して、カーペーターにゆきそそれだけ貰つて、全く生徒だけで數人合同一つの家を建てる併も其處に泊る、何といふ満足であらうと思ひます。序でに大工部屋の事を附記しますと、他の校舎から少し離れてゐる大きい生徒は皆此處に來て作業をいたします、其指導の先生は、本統の大工さんでその他に或大學教授で特に木工、殊に生徒に教へる事に興味を持つてゐる方が一週數回寄附的行爲で來て指導されると云ふ事であります。

唱歌の教室も參觀いたしました、明日のクリスマス祝賀の歌の稽古で、二年生以上全部一緒に練習をして居りました。先生はホイラックスクルと同じ先生でありました、中々皆上手で二年生から二部合唱で五年生が三部で歌つて居りますには驚きました。

二年生の可愛い、女兒の傍に非常に大きい、犬がうづくまつて居ります、此女兒の行く所について廻つて居り、おとなしく何の妨もしません、また生徒達も、その存在を無視してゐる所、一寸我國では見られぬ所を面白く思ひました。

四年生以上の生徒は一週三回、中食を生徒と一緒に食堂でとると云ふ事であります。

お 願 ひ

皆さんの此の雜誌を、若しまだ讀んでゐて下さらなかつたら、是非すぐ御購讀下さい。

すでに讀んでゐて下さる方々は、どうぞ、廣く他の方々へおすゝめ下さい。我國の幼稚園教育の發達のために。

日本幼稚園協會

購讀申込みに就ては本誌奥付けを御覽下さい。

第五回全國幼稚園關係者大會

— 主催 名古屋市保育會 —

一、大會日程

第一日(十月十七日) 會場 市公會堂四階ホール

片岡定四郎氏

(午前)

一、開會 (午前九時)

一、君ケ代

一、勅語奉讀

一、開會の辭

一、訓辭 (文部大臣)

一、祝辭

一、議長選舉

一、經過報告

一、議事

2、關西聯合保育大會

1、文部省諮問案

2、議題

(午後)

一、研究發表

一、講演

幼稚園に於ける健康教育

大阪帝大醫學部講師 醫學博士 竹村 一氏

一、名古屋城拜觀 (午後三時電車)

一、招待會

- 1、餘興 西川舞踊(午後五時一階大ホール)
- 2、晚餐 市長招待(午後六時四階ホール)

第二日(十月十八日)

(午前)

一、開會 (午前九時)

一、議事

1、議題

(午後) 記念品贈呈

一、研究發表

一、講演

幼稚園の新使命

東京女子高等師範學校教授

倉橋 惣三氏

一、閉會

市内見學案内

二、問題

甲、文部省諮問案

一、幼稚園保姆養成ニ關シ改善スベキ事項如何。

乙、議題

一、保姆ノ資格向上竝ニ待遇改善ニ關シ左記事項ヲ其ノ筋ニ建議スルコト

(一) 幼稚園保姆ノ教養程度ヲ小學校本科正教員ト同等以上タラシムコト

(二) 幼稚園長及保姆ヲ視學等ニ任用スルノ途ヲ開クコト

(三) 幼稚園長及保姆ノ若干數ヲ奏任待遇ト爲スノ途ヲ開クコト

(四) 幼稚園保姆ノ月俸額ヲ本科正教員ニ準ゼシムルコト

(五) 幼稚園長及保姆ニ對シ年功加俸ヲ給スルコト

(六) 恩給法第九十八條第二項ヲ削除セラレタキコト

キコト

コト

コト

コト

コト

コト

キコト

名古屋市保育會

二、幼稚園ノ普及及發達ニ關シ左記事項ヲ府縣知

事ニ請願スルコト

一、幼稚園竝ニ託兒所ノ普及及ビ増設ヲ圖ラ

レタキコト

一、保姆養成講習ノ期間ヲ延長シニケ年トセ

ラレタキコト

一、保姆檢定試験ノ規定ヲ改正シ其程度ヲ小

學校本科正教員ト同等以上ニセラレタキ事

吉備保育會

三、幼稚園記念日創設ニ關スル件(撤回)

説明 幼稚園令ノ發布セラレタル月日ヲ以テ

幼稚園記念日ト定メ適切ナル行事ヲ行

ヒ斯教育ノ強調發展ヲ期セントス

吉備保育會

四、幼稚園幼兒ノ園外保育ノ場合乗車賃金ヲ小

兒ノ半額トセラレンコトヲ其筋ニ建議スルコ

ト

大阪市保育會

五、小學校ト幼稚園ト家庭トノ聯絡ニ付テノ具

體的方案如何

千葉縣國府台學院 東華幼稚園長

六、家庭教育振興ノタメ各幼稚園ニ於テ實行セ

ラレツツアル情況竝ニ將來ノ計劃承リタシ

吉備保育會

七、保育項目運用上特ニ留意スベキ事項如何

千葉縣國府台學院 東華幼稚園長

八、幼稚園ニ於ケル談話ノ基本的態度如何

説明 一幼稚園ニ於ケルオ話ノ目的ハ幼兒ヲ

シテ幼兒ノ世界ニ住マシメルコトデア

ルトノ保育談話獨特ノ基本的態度ヲ定

メタイト思フ

京都市保育會

九、時代ノ趨勢ニ鑑ミ最モ適切ナル幼稚園ノ施

設經營ニツイテ承リタシ(撤回)

神戸市保育會

一〇、幼兒ノ榮養増進施設ニツキテ承リタシ

(撤回)

給食、肝油服用、間食等

大阪市保育會

一一、幼兒ノ健康ヲ如何ニシテ増進サレツツア

リマスカ各地ノ狀況ヲ承リタシ(撤回)

神戸市保育會

一二、年少組ニ適當ナル手技ニツイテ承リタシ

(撤回)

神戸市保育會

三、大會狀況

昭和六年十月十七、十八兩日、名古屋に於て第五回全國幼稚園關係者大會開かる。主催は名古屋市保育會、會するもの全國より八九八人、當に九

百を算する幼稚園關係者が宏壯なる大公會堂に集る。志を同じうして相向ふものの一大集團、大日本全國幼稚園の意氣大いに昂り、幼稚園の前途に愈々かがやかしき光を見出でし欣喜の感に胸うたる。

議長 名古屋市長 大岩 勇 夫氏

經過報告につゞきて、議事にうつる。

四、議事

一、文部省諮問案

幼稚園保嬰養成に關し改善すべき事項如何

議長 文部省諮問案の審議説明を願ひ度し。

龍山義亮君(文部省督學官)より原案の説明あり。

議長 右諮問案に對して、かねて五一番、二〇六

番、三四六番、四一六番よりの通告あれど、そ

の前に質問あらば承りたし。

二六(松山政治君) 文部省諮問案についても少

し委しく知り度し。

(1)、幼稚園保姆を廣い意味にとるか或は狭い
意か

(2)、改善せんとする事項如何

ありとすれば只今日本で行はるゝ養成機關の
狀況を承りたし。

(3)、全國に於ける幼稚園の數幾つか

只今の質問に對し、

(1)、は幼稚園令による、

(2)、現在種々あれど今明らかに記憶せず、

(3)、たしかなる數は記憶せず、

三八〇(加地彌一君) 幼稚園の保姆養成機關改善

とは如何なる意味か、

龍山廣く解釋したし、

一六九(北口楠江君) 保姆養成機關は文部省の如

何なる省令に依るか

龍山幼稚園令の施行規則による、

議長 質問がなければ、かねて通告ありし五一番

の登壇を乞ふ、

五一(長野隆義君) この問題は保姆養成機關に起

因してゐると思ふ、何故進行が遅れたかの原因

は、

(1)社會が幼兒教育の必要を認めざりしこと、

(2)識者は認めても義務教育でなく數が少ない

ので實際行はれなかつた、上流社會の贅澤と見

られたがその時勢は過ぎ去つたと思ふ、數に於

ても今日は非常の勢で發展してゐるのは慶賀に

たえぬ。この時、この際好機逸すべからず、完備

することを要求したい、六ヶ月や一ケ年の講習

では今日の時勢に添はぬ。然らば如何様にすべ

きかといふに、

(1)は地方に於ける保姆養成機關なり。現在の

女子師範に於ても最後の學年を、文科、理科、

保育科として、みつしり一年間研究すること、

この問題に附隨して服務年限中に幼稚園に奉職することとする、俸給令も本科正と同じくは當然の事なり。

(2)中央に於ては兩女子高等師範に保育實習科があるが是ではまだ不充分なり。

二〇六(望月クニ君) 私のは前の方の敷衍になる、何故一生懸命かと云ふに、特に文部省から出された御親切にお答へしたのである。兩女子高師の保姆實習科は是非本科に組入れて本科で眞剣に教育して貰ひ度し、中樞の人物とは是を云ふ。勿論地方も考へて欲しい。

二四六(早川喜四郎君) かういふ婦人の方を主としたる會合に私は立ちたくなけれど幼稚園令に保姆養成機關のことが落されてゐるので、仕方なくこゝに立つ。小學校の子供の教育と幼稚園の子供の教育とは違ふ、是は中學と小學校との違ひよりむしろ大なり。然るに小學校の先生の

資格を持つものは保姆のはすぐ貰へる事になつて居て、是では保姆と小學校とが相通じて出来るかのやうに見える。私の方でも保姆の養成をして居るが、實驗上如何に少なくとも二年以下では出来ない、どうしても高等女學校をしまつて二年以上の修業をつまねばならぬ。

四一六(岡政君) 度々建議した事を今回は文部省からたづねられたことを感謝す。この問題は量と質であると思ふ。量に於ては現今はさまで云ふことなし、まづ質の向上なり、實習を高女卒業二年以上設置すべしと改めてほし、保姆を又養成する人をほしいと思ふ。

二六(松山政治君) これにつき今迄は多くは質の問題なり、異存なし、幼稚園令が大正十五年に出してから幼稚園の数は非常にふえた、そのふえた幼稚園にとれだけの資格者があるか調べたし、養成所は出来たが一年位で中止して居る所

あり。

六二一(眞澄超倫君) 保姆の資格はそのまゝにし

て保育講習會を開くのを奨励してほしい。

一〇六(江田定吉君) この問題は慎重にはかりた

く何卒委員附託に願ひたし。

八三〇(靜田正志君) それぐその道の權威ある

人に願ひたし。

これにて、委員附託となる。

答申案

一、保姆養成機關ノ修業年限ハ小學校本科正教員

ト同等トシ高等女學校卒業後二ケ年以上トスル

コト

一、保姆養成科ノ課程ハ左ノ案ヲ適當ト認ム

學科課程

修身 (人倫道德ノ要旨)

教育 (教育學、教育史、心理學、兒童心理、

教授法、管理法)

保育 (保育原理、保育ノ實際方法、個性調

査法)

社會事業概説

生理衛生 (幼兒ノ生理及衛生、育兒法、看護法)

理科 (自然研究、動物飼育、植物栽培)

文學 (兒童文學、談話)

圖畫

手工

音樂 (唱歌、樂器使用)

體操 (體操、遊戲、競技)

實習 (幼稚園ニ於ケル實地保育)

一、女子師範學校ニ保姆養成科ヲ設クルコト

一、師範學校ノ課程中保育法ニ關スル教育ヲ一層

充實セシムルコト

一、師範學校ニ附屬幼稚園ヲ設クルコト

一、高等師範學校及大學ニ幼兒教育研究科ヲ設置

スルコト

右ノ他保姆檢定ニ關シ

一、幼稚園令施行規則第十條第一項第二號中「一年以上」ヲ「四年以上」ト改ムルコト

左記事項ヲ其筋ニ建議スルコト

(一) 幼稚園保姆ノ教養程度ヲ小學校本科正教員ト同等以上タラシムルコト

委員長	51	長野隆義
委員	1	新庄よしこ

(二) 幼稚園長及保姆ヲ視學等ニ任用スルノ途ヲ開クコト

同	8	和田實
同	26	松山政治

(三) 幼稚園長及保姆ノ若干數ヲ奏任待遇ト爲スノ途ヲ開クコト

同	70	金谷マス
同	206	望月クニ

(四) 幼稚園保姆ノ月俸額ヲ本科正教員ニ準ゼシムルコト

同	228	安井八十二
同	346	早川喜四郎

(五) 幼稚園長及保姆ニ對シ年功加俸ヲ給スルコト

同	362	岩井つた
同	414	鈴木俊介

(六) 恩給法第九十九條第二項ヲ削除セラレタキコト

同	416	岡政
同	711	市川たま

七二一(市川たま君)説明

同	766	エヌ、ポーマン
---	-----	---------

答申案

名古屋市保育會

第一號議案 保姆ノ資格向上並ニ待遇改善ニ關シ

一號議案

建議書

別紙事項ハ幼兒教育上洵ニ緊要ノ事ト認メマスカ
 ラ特別ノ御詮議ヲ以テ一日モ早ク御實施下サル様
 然ルベク御取扱ヒ相成度第五回全國幼稚園關係者
 大會(出席者九百名)ノ決議ニ基キ右建議イタシマ
 ス

昭和六年十月十七日

第五回全國幼稚園關係者大會代表

名古屋市保育會長 大岩・勇 夫

文部大臣田中隆三殿

建議事項

- 一、幼稚園保母ノ教養程度ヲ小學校本科正教員ト同等以上タラシムルコト
- 二、幼稚園長及保母ヲ視學等ニ任用スルノ途ヲ開クコト
- 三、幼稚園長及保母ノ若干數ヲ奏任待遇ト爲スノ途ヲ開クコト

四、幼稚園保母ノ月俸額ヲ本科正教員ニ準ゼシムルコト

五、幼稚園長及保母ニ對シ年功加俸ヲ給スルコト

六、恩法第九十九條第二項ヲ削除セラレタキコト

委員長 75 稻葉俊治

委員 258 内匠ちえ

同 337 土坂元三

同 457 小幡常藏

同 483 浦野みち

同 575 青木彦次

同 595 鹽路玉枝

同 612 大平タカ

同 726 大島せき

第二號議案 幼稚園ノ普及及發達ニ關シ左記事項ヲ

府縣知事ニ請願スルコト

一、幼稚園並ニ託兒所ノ普及及ビ増設ヲ圖ラレ

タキコト

一、保姆養成講習ノ期間ヲ延長シニケ年トセラレタキコト

一、保姆檢定試験ノ規定ヲ改正シ其程度ヲ小學校本科正教員ト同等以上ニセラレタキコト

吉備保育會

答申案

就學以前の保育が人間の基本的教育として重要なるは論を俟たず。方今幼稚園託兒所の施設、漸次増加しつゝあるも、未だ以て其恩恵に浴するものは、特別の便宜ある地方を除きては、一般的には大部分遺棄、放任せられつゝある現状なり。而して反面此の社會的要求に應じて姑息的施設の幼稚園託兒所の類續生する傾向あるも其實績に於て疑はしきもの尠なきにあらず、是を以つて、地方自治團體或は各種公共團體或は特に地方の篤志家を

慫慂して眞の教育的精神に立ち又確固たる經濟的基礎を有する幼稚園託兒所の至急増設普及を獎勵

せられたし、尤も地方的事情を異にするを以つて、或は收容時期に於て或は認可手續等につきては、なるべく簡易自由の餘地を與へ、而も保育事業の原動たる、保姆の資質に關しては必ず相當の制限を設け濫りに實質上の資格なき者をして之が實務に携はざらしめられ度く隨つて保姆養成機關の完備は當然の要請なり、輿論を代表する意味を以て本大會の名に於て此段及請願候也

昭和六年十月拾七日

第五回全國幼稚園關係者大會々長

各地方長官殿

右の通及報告候也

委員長	83	仁木正一
委員	3	卜部たみ
同	218	鹽見タキエ
同	331	澤田稔
同	424	折井彌留枝

同 488 林 成 子

同 592 木村藤兵衛

同 623 池田章子

同 754 朝倉尙綱

第五號議案 小學校ト幼稚園ト家庭トノ聯絡ニ付

テノ具體的方案如何

千葉縣國府台學院 東華幼稚園長

答申案

(一) 小學校トノ聯絡ニツイテ

(イ) 小學校當事者ニ對シテ幼稚園ノ本質ニ就テ充分ノ理解ヲ求ムル方法ヲ講ズルコト。(例ヘバ文書又ハ會合ナドニテ)

(ロ) 幼稚園三ケ年ヲ加ヘテ小學校九ケ年間ト見ル

コト不可能ニアラズ。モシ斯ク見ル時ハ一貫セル系統ニ依テ教育案ヲ立ツベキハ至當ナリ。依ツテ將來コノ教育案ト更ニ法令上ヨリモ聯絡セシムル方法ヲ取ルベキ必要アリト認ム。

(ニ) 適宜ノ時期ニ必ズ關係小學校長及低學年擔任教師トノ懇談會ヲ開催スルコト

(三) 幼稚園ヨリ保育考查書ヲ修了者ニ與ヘテ小學校ヘ入學ノ際當事者ノ參考ニ供セシムルコト

(ホ) 出來得ル限リ在園中ニ施サレタル保育ノ進度ヲ慮リ適當ナル教育ヲ小學校ニ於テ實施サレルコト

(ヘ) 小學校ニ於ケル教育懇談會並ニ研究會ニハ幼稚園當事者ヲモ招待サルベキコト

(ト) 低學年ノ教育ハ幼稚園ノ保育様式ヲ充分ニ加味セララルベキコト

(チ) 小學校低學年ニ就テ更ニ幼稚園當事者ニ於テモ研究調査スベキコト

(リ) 幼稚園修了者ガ小學校入學後如何ナル狀況ニ變化シユクカ常ニ注意ヲ拂フコト

(ヌ) 特殊兒童ニ就テハ特ニ小學校ヘ其旨通知スルコト

(ル) 圖畫、手工、遊戲等ノ幼稚園要目ト小學校ニ

課スルソレト充分折合セテ爲スコト

(ヲ)幼稚園修了兒ノ大多數ガ入學スル學校ノ運動

會學藝會等ニ園兒ヲ參加又ハ參觀セシメ、園ノ

催物等ノ時モナルベク低學年ヲ招待、參加セシ

ムルコト

(ワ)事情ノ許ス限リ小學校一年級教員ハ幼稚園教

育ヲ實際經驗セシ者ヲ採用サルベキコト

(カ)相互ニ參觀シ合フコト

(二)家庭トノ聯絡ニ就テ

(イ)家庭ヨリ幼稚園ヲ參觀セラルルヤウ獎勵スル

コト

(ロ)通信簿及書狀ソノ他印刷物ヲ利用シテ聯絡ヲ

計ルコト

(ハ)入園前又ハ當初ニ於テ幼兒ノ心身ノ發育狀況

及ビ個性環境等ヲ充分ニ調査スルコト

(ニ)母ノ會及ビ保護者會ヲ設ケテ聯絡ヲ計ルコト

(一)育兒座談會ノ開催

(2)特別集會及ビ特別行事ノ利用

(3)兒童教育ニ關スル指導及ビ研究ニ特ニ骨折

ルコト

(ホ)家庭訪問ヲ一層適切有效ナラシムル事

(ヘ)家庭教育竝ニ育兒ニ關スル良書ノ推薦及紹介

(ト)バンフレット及機關雜誌等ニヨリテ幼稚園要

目ニ關スル事項及玩具繪本等ノ研究ヲ發表シ且

ツソノ標準ヲ示スコト

委員長	12	高崎能樹
委員	126	大河原琴
同	238	富中房
同	328	佐々木貞
同	470	岩田艶子
同	602	小山初枝
同	635	大河内智香
同	818	小林宗作
同	880	大山てい

第七號議案 保育項目運用上特ニ留意スベキ事

項如何

千葉縣國府台學院 東華幼稚園長

答申案

一、保育項目運用上特ニ留意スベキ事項如何

一、親ノ編成 保護者ノ理解タルモトニ成ルベク心身ノ發達行爲ニ依リ編成スルコト

二、保姆ノ研究 保姆ハ項目ノ運用上一般ニ注意

スベキ事項ヲ知悉シ、又保育細項ニ精通熟達スベキハ勿論尙一步進ンデハ各保姆ニ適當ナル項目ノ分擔セシム特別ニ精細ナル研究ヲ常ニオコタラスコト

三、保育細目ノ選定

一、幼兒ノ生活ヲ基礎トスルコト

二、園所在地及園ノ主義方針ニ依リ考慮スル事

三、幼兒ノ生活行事季節ニヨリ多少按配スルコト

四、各項目ヲ普遍的ニ配當スルコト

四、項目取扱上

一、項目ニトラハレズ綜合的取扱ヒヲナスコト

二、項目相互ノ連絡ヲトルコト

三、保育ノ實際ニ當リテハ時ニ其組ノ全幼兒ヲ

シテ同一項目ノ下ニ保育スルモ又時ニ分團の取扱ヲ行フコト

五、設備ニツイテ

一、項目ノ實施ニ必要ナル器械器具ヲ完備スルコト

二、經濟ノ許ス限リ幼兒ノ要求ニ應ジ之レニ満足ヲ與ヘ得ル様材料ノ設備ヲナスコト

委員長 11 土川 五郎

委員 21 平田 華藏

同 54 清水 桔梗

同 257 小林 シツ

同 314 君塚 通子

第八號議案 幼稚園ニ於ケル談話ノ基本的態度如何

同	446	三	戸	花	子
同	541	野	田	規	代
同	675	中	澤	と	い
同	815	土	川	田	鶴

未分化ノ教育—幼ナ心ヘノオ話ノ

構成要素—直觀的 體驗的
秩序的 律動的

生活ニヨル教育—個人對話ノ他ニ人間交渉トオ

ハナシ

コノ「人間性」「オハナシ」ノ兩方面ノ幼兒ノ要求

ヲ一體トシテ講ジテユクトコロニ基本的人間的

陶冶ガ出來ル

二、幼兒ノ心理ノ理解

時期 a、滿一歲—三歲頃(幼稚園ニ來ルマデ)

搖籃期コトノハジメ

b、滿三歲—五歲頃(年少組)旋律愛好期

—現實事物ニ對スル人格の交渉時期

c、滿五歲—九歲頃(年長組)想像馳聘時

期—現實以上ノ方法ノ假象ノ世界

三、保姆ノ態度

同ジ話材ヲ一回毎ニ進展セル「オハナシ」トシテ

洗練シテ行クコト出來ルダケ幼兒ムキノヤサシ

説明 「幼稚園ニ於ケルオ話ノ目的ハ幼兒ヲシ

テ幼兒ノ世界ニ住マシメルコトデアアル」

トノ保育談話獨特ノ基本的態度ヲ定メタ

イト思フ

京都市保育會

答申案

一、幼稚園ニ於ケル談話ノ基本的態度如何

問題ノ要點—基本教育トシテノ特點ヲ徹底セシ

メンガ爲ニハ幼稚園ノオ話ニ於イテ如何ナル態

度ヲトルベキカ

一、原理保育—基本教育

イ話材ヲ選ンデオ話スルコトソノヤサシイオ話
ニ共感共鳴センガ爲ニハ「幼兒ノ世界」ノ消息ニ
通ジルヤウ努メタルコト

a、幼兒心理ノ研究

b、子供トノ相互生活(幼稚園ノ朝ノ個人的

對話)

四、保姆ノ人生ノ基調トシテノオハナシ

保姆トシテ幼兒ト心ノ通ジタホド喜バシイコト

ハナイ幼兒童ノ心ノ波動ニ共感シ自分ニ子供ヲ

モワスレテ只「オハナシ」トイフ一光景ノ中ニ没

入シ得タ體驗ヲ以ツテキル人(其ノ深淺ノ度ハ

イロ／＼アラウガ)相集ツテ相互ニ斯ノ道ニツ

イテコウ會フコトニヨツテ最モ眞實ナル體驗ヤ

實修的研究ガ出來ルコ、一ケ年間ソウシタ研究

ヲツツケテ成果ヲ明年ノ關西幼兒講習會ニ於テ

發表セラレムコトヲ望ム

委員長 350 大塚 喜一

三、松 永と き君

神戸市保育會

同 2 望月いと

同 107 大道テ

同 357 奥村與三郎

同 437 佐々てつ

同 470 片倉シゲ

同 621 澤田縫子

同 653 野澤安千代

同 708 小島賢造

同 807 小池長

同 874 岩井榮之助

五、研究發表

一、金 谷 マ ス君 大阪市保育會

幼兒ニ適切ナル唱歌ノ材料ニツイテ

二、笠井しげの君 大阪市保育會

幼兒ノ心情陶冶ニ資スル一二ノ試ミ

保育資料トシテノ自然恩物ノ研究

四、前田定五郎君 神戸市保育會

點數式幼兒智能檢査法ノ實驗的結果

五、林 成 子君 静岡櫻花幼稚園長

六、幸田ハナエ氏 大阪自然幼稚園

自然恩物ニツイテ

閉會 十八日午後二時半

名古屋城拜觀は十七日午後三時よりなりしも、

折柄の驟雨の爲十八日閉會後と變更す。

右各項については保育會に於いて記録せらる。

委しきは名古屋市保育會の報告を参照せられんことを乞ふ。

桐の實

主事はお晝の食事をなさる爲幼稚園から本校

へ――

――あ、もしく、今こつちに来る道、女學校の庭に實

のついたまんまの桐の枝が切つてありますから、

あれを幼稚園に持つて行つて下さい、何か切るもの

を、鋸でも持つて行かないと。……

――はい、かしこまりました、ありがたうございま

す。

………

みんなで行つて見る。なる程く、もど木のためにとて切り下ろされた桐の大き枝、木に

ある時とは違ひかうして地上に見るとかなりな場所をとるもの、一くざりの内庭は桐の葉で埋つてゐる。

さつき此處を通つてこれを見てゐながら、

枝にありのまゝの桐の實がこんな手近に落ちてゐながら……

何とまあうかつなことであつたらう。そのもの、前を通つてゐながら、こゝろから見ない

爲に「逃し」て居る事が度々あるやうな氣がして

勿體ないことだと思つた。

(十月十六日 お茶の水幼稚園)

童心を友として

大塚喜一

本年名古屋に於ける全國幼稚園關係者大會に於て『幼稚園に於ける談話の基本的態度如何』なる問題に就て、實際家諸賢の後に僕も愚見の一端を述べさせて頂いた、その速記はいづれ本大會記録に出るさうだから其方に譲ることとし、茲には右の發表の中にて「生きた實例」として引用させて頂いた雑誌「話方研究」第七卷第五號（本年四月二十日發行）所載の

鈴木すみ子先生 一年生を持つてみて

なる體驗手記全文を松美先生の御許諾を得て紹介し、次に本文に就ての僕の感想を述べたいと思ふ。斯くする事によつて僕の云はんと欲する「基

本的態度」を最も切實に鮮明に讀者諸士に傳へる事が出来ると思ふからである。

* * *

ずむぶん永いこと、一年生の先生で通つてきた私が、全校兒童とよく親密に結びついたのは、お話の力であると斷言したいと思ひます。

初學年の兒童は遊戯を全生命とするから、一年生の擔任は遊戯がよく出来なければならぬときいて、此の熱心な研究者となつた新卒第一年間は、誠に若くて青春の血に漲つてゐたものでした、然し此の元氣は永く續かなかつたのです。三年目の秋、猛烈な胃痙攣をやつてからといふものは、昔

の意氣を出す事が出来なかつた、一年生の先生としての資格は全く失はれてしまつた。そして童心の失はれたヒステリックな先生になつてしまつたのでした。今思ひ出して、よくあんな氣持で、可愛い、幼兒に接したものだと思ろしい様な氣がしました。

こんな先生になつてしまつた私は、遊戯に變るべき一年生の先生としての修養をする事につとめて見ました。

一筆略畫を習ひ、手技を覚え、オルガンを奏する事を勉強しました。けれども何となく兒童との間が親密に出来ませんでした。

或日他から轉校して來た一生徒が

「先生私おもしろいお話知つてるのよ」
 と言つて、あんなさんが象見物に行つたお話をしてくれました。まあそのあとけない顔、私もたまになくなつて

「先生もお話を一つして上げませう」

といつて、母から寐ものがたりにきかせられた、すずめの話をしてやりました。ところが

「まあ先生、おはなしがお上手ね」

兒童等は話が終わると一しよに、こう言つて拍手をしてくれました。私はなんだかきまりが悪くなつて赤面してしまひました。子供に褒められて赤くなるなんて、お恥しいじやありませんか。

翌日始業時に教室にのぞむと、兒童等は

「先生お早う。おはなしして頂戴」

と叫びました。おはなしは用意して來ないと斷つても

「先生昨日のおはなしして頂戴」

「すずめさんのおはなしでいゝの」

大騒ぎです。

「え、きのおはなしでいゝんならして上げませう」

私は又すずめのおはなしをしました。してゐるうちに昨日よりは落著いて上手に話してゐるような気がしました。話が終ると児童たちは一しよに拍手を送つてくれました。まあ同じ話を二度もきいて何がおもしろいんでせう。

休み時間に運動場に出ると、知らない他級の生徒がとんで来て

「先生おはなしきかせてよう」
とせめつけます。ここでも又すずめのお話をきかせました。二度目よりはお話の仕方が大ぶ上手になつた様な気がします。其翌日からは、一日に一つづつ、キットお話を用意しておかなければならない様にさせられてしまひました。

「鈴木先生はおはなしがお上手よ」

こんな噂があちこちにきこえる様になつて、急に児童たちに身邊を擁護されてゐる様な氣分に充される様になりました。

或る日、學校から歸る途中の事でした。可愛らしいおかつばさんが向ふから來ましたが、いきなり兩手で私の右手をつかまへて

「せんせい」

と甘えにかゝりました。はて誰だらう？

「あなたどなた？」

とさゝますと

「あーらいやだ、私一年の四組よ」

知らない筈だ。自分の受持ではなかつたのですもの。

「まあそうですか」

「先生はいゝ先生ね」

「まあそうですか」

「先生又私の級へ来てお話しかせてねえ」

おはなし即いゝ先生だつたのです。

これ程お話を通じて、先生と児童とが接觸する様になると、うつかりしたお話しは出來ないと思ひ

ました。丁度昨年の四月、松美先生の童話の講習
に出席しました。

僅か一日の先生の講習が、實に有益でありまし
た。井中から這上つた蛙が、漸く大海の廣きを知
つた私は無鐵砲にやつて來た童話の足跡を眺め
て、戰慄を覺えました。此の講習と同時に日本童
話聯盟に加入して、度々の研究会に出席し、幾分
か自信もつき、殊に我が校内に童話部をおいて戴
く事も出來ましたので、時々童話會を開いて兒童
と共に楽しんで居ります。此様にして全校生徒と
は、何時何處で行き逢つても、にこにことして特
別の親しさを以て迎へてくれるやうになつたので
あります。(昭和六、三、二三)

* * *

話方研究第七卷第五號を手にして、先づ目次の
「二年生を持つてみて」に目を引かれた。實際家
の體験談を平生から聴きたく思ふてゐるのでむさ

ぼるやうに讀んで行く中に、鈴木先生の歩んで來
られた道が僕とよほどよく似てゐる事、殊におは
なしに就て僕が考へてゐる事や云はんと欲する心
持等を明に事實に示されてゐるので、同志の友を
得た喜を感しました。依て茲に本文に對する僕の
感想を述べて、讀者諸士と共に此の貴重なる體験
記録に就て學びたいと思ひます。

先づ、眞劍な先生の御修養の數々に對して敬意
を表します。かうして絶えず道を求めて止まなか
つた努力が、或日幼い生徒のしたお話によつて、
童心の共鳴にまで高まつて來たやうに思はれま
す。子供のあどけない話振りによつて先生の童心
を揺り動かされて、お母様から幼き日に聽かれた
すずめのお話をなさつたところ、親心子心の融和
と申しませうか、これこそ眞實なる教育者の態度
であり、こゝに先生の御成功の契機が存するので
あると思ひます。果せる哉子供達は幾度もこの

「すずめのお話」を求めて居り、先生も又一回毎に洗練せられたる「おはなし」としてきかせてゐられます。

此間の情景は本誌本年三月號所載の拙稿「幼な心へのお話について」中の「幼児の好きなお話を何回も繰返して話せ」なる項目の下に記した僕の考を事實に證明するものであり、その餘りに明かなる一致に驚かされる程です。

鈴木先生が始めてこのお話をせられた時、「まあ先生おはなしお上手ね」と言つて拍手した子供たち！これは「先生、私たちの好きなお話を聴かせて下さつて有難う」と、幼児の世界に遊び得た喜びの表現でせう。決して末技の上手を言ふのではありますまい。子供達との親交を求めてゐられた先生として、どうしてこの言葉に感激せずには居られませうか。自分の心が子供達に通じた事、更に切言すれば童心に共鳴し得た事を感知するの

は、我々にとつて最も喜ばしい事です。この感激この共鳴が先生の人生に於ける大なる力となつてずん／＼進んで行かれた有様が明に讀まれます。

殊に「兒童たちに身邊を擁護されてゐる様な氣分に充される様になりました」と云はれた心境こそ、實に先生として童心藝術にいそしむ者として最も祝福された境地ではありますまいか。お話は實に先生と子供たちとの直接交渉です。電氣の火花を散らす様な、間髪を容れざる心と心との感應共鳴の道場です。子供たちがその幼な心のすべてを傾注しておはなしに聴き入る時、その輝く眼の奥に潜む童心の寶玉が話者の心に反映して、自分はお話をしたのではあるがホントウの心もちを云へば子供たちから尊い心の糧を頂いたのです。こうした經驗を幾度か繰返す毎に、我が胸に抱く童心の寶玉がだん／＼に大きく育てられて行きます。そして何處へ行つても失はれる事無く、いつも自分

の力となり慰めとなつて呉れます。お話を聞いて居る子供達の心がいつも我がハートに住んでゐるごでも申しませうか。斯うした心持は僕だけではないと思ひます。

讀者諸士の中には既に斯うした境地に達してゐられる斯道先輩諸賢もおありであらうと思ひますが、若し斯うした境地に達せん事を望まるゝならば、「おはなし」といふ自分對子供達の直接交渉を第一義として、あなたの子供達があなたのおはなしを聽いてゐるのだといふ嚴然たる事實を正面から眞剣に直視して頂きたいと思ひます。そうすれば、自分のお話を誰か、横で傍聽してゐると恥しいとか、同じ童話を何度もしたのではあの人はお話しか知らないと思はれるとか、そんな大人の世界に屬する事は、一度自分が子供達の前に立てば殆ど問題にならない瑣事になつてしまつて、お話そのものに全精力を傾注する事が出来るやうに

なるでせう。又一方、子供達にも充分にお話を樂しみ得る様にその心への影響を配慮してやる事です。例へば、話が濟んですぐ他の事をやらせたり、今度は自分達がさせられる番だ等思はせないやうに、一園の保母達が誰も皆今迄述べ來つたお話の世界の消息に通じて居り、少くとも「おはなしは保母の生命である」といふ心もちがわかつてくれさへすれば、一人の保母がお話をしてゐる時はその氣分を壊さないやうに御互に注意するやうになり、子供たちの前には皆が初心者であるといふ謙虚な心を以て御互の經驗を語り食ふ事が出来るやうになるでせう。偽りの多い大人の世界に比して、お話の世界のみは我等に與へられたる地上の天國であり、其處に輝く童心の光に導かれ勵まされ慰められつゝ不斷の精進にいそしむ事こそ最も生甲斐ある我等の人生であります。

幼児の心情陶冶についての経験

—— 第五回全國幼稚園關係者大會に於ける研究發表 ——

大阪市立大寶幼稚園 笠 井 し げ の

一、始めに

幼児教育者となつて數年、幼稚園が幼児の心身の健全な發達をどげしめるところであり、善良な性情即ち本質的な人間の心の素を作るところで云ふ事が、言葉の上でなくほんとうに判り出した事は同時に又私達の教育の對照が單に幼稚園の子供でなく、社會人、世界人としての子供だと云ふ事もはつきり判つたのであります。その時代から私は廣い世間をしみじみ見なければならぬ必要を痛切に感じて參りました。

二、幼児の心情陶冶に専念になり出した動機

さうして私の見た世間！ それは如何にも悲しい（表面は左様でなくも皮めぐれば）姿のものでありました。自分の私慾を満すためには父母を殺す世間であり、同胞相食む世間であり、高恩の師をさへ詐る世間でありました。最高學府を出た身であり乍ら一丁字をも解せぬ匹夫と同じ行爲をあえてする人の多い世間でありました。そこで私は智識の塔を築く前に立派な人格の礎を作つておかねばならぬ。それにはやさしい心、美しい心、與

へる事の豊かな心の子供を作る事だと思ひました。作られた圓滿な人格の素地の上に智識の芽が育つてこそ始めてほんどうの人間が作られるのだ。それをする事が幼稚園教育者の大きい仕事だと思つたのであります。

檜崎博士には個性完成の三時期として、基礎教育時代（一歳……十歳まで）素地教育時代（十一歳……十八歳まで）本質教育時代（十八歳以後）と分類せられ特に幼稚園は基礎の基礎教育時代即ち根源の教育時代だと仰言いました。

又獨逸の文化と佛蘭西の文化を比較して
獨逸は 理性の文明であり

佛國は 情趣の文明だと仰言いました。

世界一流といふ學者は獨逸よりも佛蘭西に多いし自分達も佛蘭西の文化は汲めどもぐつきぬ感じがするのに獨逸の文化はすぐに行きつまる感がす

る様に思ふと仰言いました。その原因は獨逸文明の基調は理性であり佛蘭西文明はその下層を流れてゐる情に源を發してゐるからであると言はれました。人間教育の大きな原因がこのお話の中にくまれてゐる様に思ひました。

子供の心情の教育について考へ様とする心はこゝでいよゝ深まつたわけでありませう。

三、如何なる方法で幼児の心情を陶冶するか

幼児の心情はいろゝの方面からいろゝの方面によつて陶冶されること存じます。秋晴れの一日高い山の上に又は廣いゝ原つばの真中にごろりとねころばせて美しいすみきつた空を、雲の色をながめさせる事も、雄大な海邊に立つて唯靜かに波の音をきかせる事も更に早春霜枯れの草の下から萌え出ようとする若草の雄々しさを見つめしめ

る事も立派な心情陶冶の方法だと存じます。幼稚園の生活に於て小さい苗床に草花の種子を蒔かせそれが芽生え、伸び花開き、實るところまでいたはり育てさせる事も大きな心情陶冶の方法だと存じます。それを考へて行きます時あまりに問題がひろがりすぎる様に存じますので今こゝで私の述べ様といたしますのは人と人とのふれあひに於て如何にその心情を陶冶しようかと云ふ事のみについてであります。

先づ幼稚園に於ける子供の生活を考へて見ます。

純自然生活

被設定生活

の二つに大別出来様と存じます。

純自然生活とは全然保母のプランによらない子供の生活であり、被設定生活はいささかでも保母の立案下に行はれる子供の生活であります。

先づ

1、純自然生活中では如何に考慮してゐるか

「相互生活を圓滿ならしめ受ける事與へる事の

よろこびを十分に味はしめる様にしてゐる」

と申しただけではあまりに抽象的でありますから日常生活茶飯事の中から私達の心づかひの一二をひろひ出して見る事にいたします。

I

私の幼稚園の子供にはどうしても守らねばならぬ事として紙とハンカチーフを忘れぬ事を申渡してあります。でも子供のうっかりさからお母様の不注意から子供は時折忘れて参ります。それでも鼻汁を拭ひたい時、手を拭かねばならぬ時はございます。その時子供達は如何にもすまなそうに（いじけてゐると誤解しないで下さいませ。子供はやつぱり守るべき事を守らなかつた辛さはしつてゐると見えます）「先生紙ないの」と申し出ます。

その時私達はなるべく自分の紙を與へない様に心がけて居ります。「そう、それはなんぎです、誰かにお願ひしてあげませう」と近くに居る子供達に、「一寸この人に紙あげてね」と申します。「うん」といつてその子は自分の紙の幾枚かを友達にくれます。もらつた子供がそれで美しく鼻汁を拭つた時、「まあきれいになりましたね、この方にお禮いつときませう」と云へば「おーきに」と云ふ。云はれた子供は恥しさうにニツと笑つて走つて行きま

す。二人の子供の心はその刹那にびつたりと結びつかつた様に思はれます。

II

子供は決して薄情ではないのでせうけれども大人が友達を奪はれた程に仲よしの子供を失つた時のさびしさを現しません。その時その世界に於ける遊び相手を見つけての生活を始めます。従つて

自分のクラスの子供がどんなに永くやすんでも平氣である事が多いのであります。そこで私は子供達をお部屋にいれました時、「あなたのお隣りは？」と云ふ。誰さんです。それからその子についての話に花が咲きます。結局病氣でさびしいお家にゐるのだと云ふ事がわかると、「お氣の毒ですね、皆は先生やお友達とこんな面白く遊べるのに毎日おねんねしてゐてどんなにか淋しいでせう」とねてゐる辛さをしみぐ味はせてお見舞を贈る事を決議します。

保育修了前で文字のかける子供の多い頃なら各自にお手紙をかゝせる事もあり各自の畫をこぢて贈る事もあります。粘土製作で美しい果物のいろいろを作つて送つた事もあります。それを作り又は描いてゐる時の子供の姿、そしてそれをうけた時の子供の喜び、その子供が久しいお休みの後出席した日待つてゐた子供達は「君もういゝの」と肩

に手をかけます。「うん」と大きくうなづいて嬉しさうにお庭に出て行く姿。人を思ふ、思つてもらふ、その二つのよろこびはこゝに完全に一如の美の姿となつて現れます。次に

2、園外保育の時の試みの一つ

私の幼稚園では月一回の園外保育をいたします勿論附添ひはついて参りますけれども私はあるく道々を子供相互でたよりたよられる、よろこびを知らせたいためになるべく附添ひからはなして居ります。

先づ年長児を一行に年少児を一行に、組みあはされた大きい子と小さい子はいとも仲よくどんな道でもよろこんであるいて行きます、自分一人でも一寸苦しい坂道を手をひかねばならぬために元氣づけられて上つて行く子供「ア、楓の木よ」と兄様に説明せられて「さう」とうなづく小さい子供、組をはなれた幼稚園全體がたつた一つのはらから

の流れを流れてゐる様に思ひます。

3、食事についての試み

幼稚園の一日中で子供の一番たのしい時それはおひるのお辨當の時です。自主獨立、それは子供を躰ける大きな目やすではありますけれども、私はこのお食事を利用して人のためになす喜びを子供に感じさせ様として居ります。小西博士がその著勞作教育の中で「愛の言葉をきかせたり、暗誦せしめたりしても愛の教育にはならない愛は實際に自發的に愛する働きによつてのみ達せられるのである」と仰言つて居ます。先づ一組の當番をきめてあります、その子供達は定めのエプロンを着て机の上を拭ふてお膳をならべお茶瓶を定めの場合に配つて支度の出來た事を申して参ります。用意された美しい部屋で食事が始ります。やがて皆食事が終つて各自が食後のしづかな遊びをしてゐる間に四人の子供は又汚れたお膳を美しく拭

いて片付け茶瓶の始末をします。やがて食後の含

嗽に行かうとする時全體の子供は當番に「ありがたう」と申します、唯それだけ家庭でも何かしら手傳ひたい様に見える子供、そののぞみの果された子供の喜び、働きたい満足と人のためにするよろこびの二つを子供は味はつてゐる様に思ひます。

4、共同製作について

始めに述べました様な考へから私は子供達にならるべく大きなものを作らせて細い神経をつかはせたく(無理)ないと願ふ心から共同製作をよくやらせてゐますが子供のやさしい心持よろこびあふ心持を作る上にもそれが又大きな役目をしてゐる事を信じて居ります、小さい手、小さい體ではとても扱へぬ粘土の大きい塊を五六人の子供がわけ合つて共同して作つたのが長さ二尺五寸にあまる大軍艦、作つた子供が見合した嬉しさうな顔「一緒にしてよかつたね」「君よくしてくれたね」と感謝し

あつてゐる様に見えます。

* * *

以上順序もなく述べて参りました。今度は設定生活の手段方法にはいつて行きたいと思ひます。

幼稚園令では遊戯、唱歌、談話、手技、觀察、其他とせられて居ります、勿論そのいづれでも子供達の心情は陶冶されて行きますけれども最も大きな使命をもつものは唱歌であり、遊戯であり、談話であらうと思ひますが遊戯は大阪市で、唱歌は東區保育會でそれ／＼御研究中と承りましたので私は談話についてのみ考へて見ました。

四、心情陶冶に資する談話

要目

(A) 談話について

幼児、歌ふ事をよろこび踊る事をよろこぶと同時様に否それ以上の喜びをもつて迎へるものはお

話であります。倉橋先生のお言葉をかれば

1、表現(再現)の快感を味ひ得られるが故に

2、心的活動の快感を味ひ得られるが故に

子供達はお話をよろこびます。そしてそのよろこびのお話をきくうちに子供達は人生の美しい尊いものの中になつてよひ自然に美を好み醜をきらひ正をよろこび邪をにくむ様になつてまゐります。更に子供達の心は保母の心持を通じての話によつて次第に高められ引き上げられても参ります。そこでなるべく子供の喜ぶ様な話を澤山にあつめてい

つどんな時でもきつたい欲望を充してやれる様に
と存じつゝ談話の要目を作つて見ました。お話の中にはそれを通じて自然を理解せしめてこれに親しみをもたせてそれに感謝の念を持たせる……等、いろいろの意味に於てのよいお話が澤山にあります。しかし私は前申しました理由に依り主として人ご人、ものごもの、の觸れあひに於てあたたかさ親しみの感じられるもののみをとつて見たのであります。故に一般的條件から見ると完全な談話要目でない事は御承知いただきたいと存じます。

年	少	組	出	所
四	月			
		驛方に關する事項の繪伽 オハヨウ、サヨナラ、イツ テマキリマス、タワイマの 挨拶 鼻紙の始末 靴、靴袋、帽子の始末 玩具の片付 椅子の取扱ひなど		
			桃太郎 蝶子さん	童話寶玉集 子供の喜ぶ話
年	長	組	出	所
			百合子さんの夢 ちからん坊 指太郎 太郎の夢	幼児にきかせる話 子供の好きな話 幼児にきかせる話 幼き人への話

月 十	月 九	月 七	月 六	月 五
<p>健ちやんと兎 鳴かの鈴蟲 一寸法師 お地藏様</p>	<p>西瓜の小猿 お月様の籠 春雄さんの飛行機</p>	<p>瘤取り 春吉さんと蝮 雷の子</p>	<p>コロン爺さん 權藏さん平藏さん 傘屋のをちさん 太郎さんのお食事</p>	<p>金太郎 お柏ねすみ 雀と鯉幟 ビョン太郎</p>
<p>子供の喜ぶ話 幼き人への話 日本お伽噺集 幼児にきかせる話</p>	<p>幼き人への話 幼児にきかせる話 子供の好きな話</p>	<p>日本お伽噺集 子供の喜ぶ話 幼き人への話</p>	<p>幼児にきかせる話 同 子供の好きな話 同</p>	<p>日本お伽噺集 子供の好きな話 幼児にきかせる話 子供の好きな話</p>
<p>月宮殿 不思議な靴 牛と猿と鳩 お猿のしくじり 柿大將</p>	<p>小さい白兎 金の鈴 お孝ころく 羊と狼</p>	<p>七夕様 赤ちやん羊 蜻蛉の御殿 西瓜とれすみ</p>	<p>牛若丸 狸々の旅行 浦島太郎 日本一の飛行機 マメ人形</p>	<p>鬼の御殿 勇さんの三輪車 勇さんの旅 ビョン太郎 五色の太鼓</p>
<p>子供の喜ぶ話 同 子供の好きな話 幼児の楽しむ話 お伽百話</p>	<p>幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 お話の實際 幼児にきかせる話</p>	<p>子供の喜ぶ話 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話</p>	<p>子供の好きな話 幼児にきかせる話 日本お伽噺集 幼時にきかせる話 子供の喜ぶ話</p>	<p>幼時にきかせる話 幼き人への話 同 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話</p>

月 三	月 二	月 一	月 二十	月 一十
<p>慾げり猫 お菓子の世界 春子さんの眠り人形 好子ちゃんと蝶</p>	<p>節分の話 神武天皇 兎の片耳 珊瑚の首環</p>	<p>飴 瓜 五色の帽 毬とうちわ</p>	<p>天狗喰ひ かくれ毬 七つの小山羊 餅搗奴</p>	<p>像と鯨の綱引き お菓子の御殿 大きな球の話 猿と玉れき</p>
<p>幼児にきかせる話 同 幼児の楽しむ話 子供の喜ぶ話</p>	<p>子供の喜ぶ話 同 幼児にきかせる話 幼児の楽しむ話</p>	<p>子供の喜ぶ話 同 子供の好きな話 幼児の楽しむ話</p>	<p>幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 グリムお伽噺 お伽百話</p>	<p>幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話 同</p>
<p>富子さんの風船 元氣な和平君 黄金の鷺鳥 光りの島</p>	<p>節分の話 神武天皇 文福茶釜 動物の願い 三吉さん</p>	<p>正直餅屋のお爺さん 太郎丸の鬼退治 力の鍵 三匹の小豚 子兎とライオン</p>	<p>石の齧 一雄さんの夢 マルのお手柄 赤んぼ爺さん 頭上の林檎</p>	<p>トロヤの木馬 三羽の小鳥 正夫さんの大将 寶の卵 三匹の小犬の話</p>
<p>幼時にきかせる話 子供の喜ぶ話 グリムお伽噺 鳩のお家</p>	<p>子供の喜ぶ話 同 幼児の楽しむ話 子供の喜ぶ話 幼児の楽しむ話</p>	<p>子供の喜ぶ話 同 幼児にきかせる話 談話材料 幼児の楽しむ話</p>	<p>幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 同 幼児の楽しむ話 お話の實際</p>	<p>幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 同 子供の好きな話 幼児の楽しむ話</p>

補	充	材	料
お婆さんの不思議の手 太郎さんの飛行機 くひしん坊の鯨 ころげた饅頭 仕事する獣 面白い靴 窓硝子さん 四郎さんと牛 おてんとさんと風の力くらべ 猿の人まね 猿蟹合戦 雀の飛行機 車煎餅	幼き人への話 子供の喜ぶ話 同 同 幼き人への話 幼児の楽しむ話 同 同 幼児にきかせる話 日本お伽噺集 子供の好きな話 幼児にきかせる話	一本足の大男 人形の鳥 虹の橋 太郎の朝顔 ドンドン橋 親切な熊 チンチクリンのお婆さん ピョン太郎さん 正直正吉 三羽のひよこ りかうな兔 まちがひ カナリヤ姫 羽折れ雀 小人の笛 金の斧 盲目蚤 牡鶴と猫 銀の鈴 二つの壺 おぼれる子供 粉屋の親子と驢馬 牡獅子の答	幼児の楽しむ話 幼き人への話 同 同 同 同 同 同 同 同 幼児の楽しむ話 同 同 お伽百話 幼児にきかせる話 子供の好きな話 お伽百話 幼児にきかせる話 子供の喜ぶ話 イソップお伽噺 同

(B) 要目作成について

1 取材分量は

昭和三年四月に定められた大阪市立幼稚園規則に依れば談話の毎週の保育時數が

三歳乃至四歳 週一時間

四歳乃至五歳 同二時間

と定められて居ります。しかし幼稚園の子供への話は短かければ五六分長くとも十五分以内のものが多いのであります。それを週一時間乃至二時間に該當するだけすると致しますと随分澤山の材料が必要でもありますし(反復の餘裕を見ても)かくする事は子供の實生活から見てあまりに無理がある様に思ひますので私はこれを時間を現すものではなく回数であらはすものと解釋し、その解釋のものと分量を定めたのであります。但し週一回乃至二回の話を必ずするとすれば五つ乃至八つ位の材料が必要なわけであるがお話の生命お話をきく者それ自體の興味から考へて徒に新しい話材を興へられるよりは同じものを三度五度反復すること

ろに却つて津々たる興味が存する様に思ふのでその餘地を興へるため材料をうんと精選割愛したのであります。

2、取材範圍は

大阪市幼稚園共同研究會竝に大阪市保育會から、三冊子供達へのお話の本が出て居ります。童話のもつ生命を、そしてお話に對しても子供達の興味を中心點を十分につかんで居られる保育實際家の手になつたものとして先づこれを中心に取材しこれに加ふるに大日本幼稚園協會の編纂にかゝる二著竝に童話専門家文學者などの著書の多くを參考としてその中から遊び出したのであります。

3、材料の排列は

すべての要目が左様である如く季節年中行事竝に幼児の心意の發達の程度を考慮して排列いたしました。

(C) 要目取扱上の注意

1、年少組、年長組共に自分の考へに基づく材料の與へ方によれば尙分量の多い感はするがそれは實際保育にあたり材料選擇の餘地をあたへたものである。

2、雨の日のつれづれに園外保育時の休息の折に豫定の保育材料を用ひて不足を來した時のためにもと補充材料を各組共に用意したわけである。

3、この要目にて年少兒と云ふは四歲兒、年長兒といふは二年保育の五歲兒を意味するもので一年保育兒は最初は年少兒の案により順次年長兒の案に近づくものとす。

(D) お話の参考圖書

1、この要目作成にあたつて一通り讀み終つた童話書名を何かの御参考にもと左記いたします。

2、圖書名の上に○印をつけたものは、幼兒にきかせる材料の豊富なるものであります。

3、島崎藤村氏の童話集は最も新しき深く自然

に呼びかけられたもので自然も亦人によく呼びかけて居ります。年長組の終り頃さむい日のつれづれにストーブのそばでもよんでやればしみづとぎけてよい話だと思ひました。

4、二十八、二十九兩方とも平易でかつ美しい文を假名でかゝれたお話の本です。特に二十九の方には子供らしい、さし繪が澤山にあります。島崎氏のとほちがつた意味で靜かにきかせてやりた

いお話の本です。

5、その外のもは多くは天下の名著と云ふものでは有りますが幼兒にきかせるには

消化しがたい事實の記述であつたり

讀むによく話すには單調でありすぎたり

教訓が多すぎたり

感傷的な材料でありすぎたり

幼兒のもつ注意力のつかぬ長さでありすぎたり

り

事件の内容が複雑すぎたりするので
不適當と認めその中から採擇しなかつたのであり
ます。

参考圖書名

- 1、子供の好きな話 大阪市幼稚園共同研究会
- 2、幼き人への話 同
- 3、子供の喜ぶ話 大阪市保育會
- 4、幼児にきかせる話 大日本幼稚園協會
- 5、幼児の樂しむ話 同
- 6、お伽百話 巖谷小波
- 7、幼稚園はなし 長尾豐
- 8、幼稚園はなし第二集 同
- 9、祝祭日のお話集 同
- 10、童話寶玉集上下 楠山正雄
- 11、雀のお宿 巖谷小波其他
- 12、鳩のお家 大井信勝
- 13、日本童話集上 島崎藤村
- 14、同 中 小川未明
- 15、日本昔話集上 柳田園男
- 16、日本昔話集下 田中梅吉其他
- 17、世界童話集 楠山正雄

- 18、朝鮮童話集 中村亮正
- 19、印度童話集 岩井信實
- 20、お話の研究 水田光
- 21、お話の實際 同
- 22、グリームお伽噺集 中島孤島譯
- 23、イソップお伽噺 楠山正雄
- 24、アラビアンナイト 同
- 25、ガリヴァー旅行記 同
- 26、トルストイ童話集 同
- 27、春を告げる鳥 宇野浩二
- 28、學校家庭童話一學年 荻谷芦村
- 29、お話讀本(尋一) 小谷良徳
- 30、尋一のお話全集 長尾豐
- 31、臺灣童話五十篇 遊澤青花
- 32、白い小兎 小野政方
- 33、をさなものがたり 島崎藤村
- 34、世界童話大系 同
- 35、日本童話選集 童話作家協會
- 36、美しいお話 尾關岩二
- 37、一年生の童話 濱田廣介其他
- 38、お伽小槌 久留島武彦
- 39、實演お話集 大塚講話會
- 40、子供繪本文庫 同

幼児に適切なる唱歌の材料

第五回全國幼稚園關係者大會に於ける研究發表

大阪市保育會

月	五	四	年	少	年	長	備考
	<ul style="list-style-type: none"> 一、桃太郎 (桃太郎さんの……) 一、鯉のぼり (大きな黒い親鯉に……) 一、金魚のひるね 一、金太郎 (まさかりがついで) 	<ul style="list-style-type: none"> 一、汽車 (汽車がとほる……) 一、櫻の花 (櫻の花はきれいな花よ) 一、鳩は軍人 一、僕は軍人 一、君が代 (お写真おがんで……) 一、天長節 (お写真おがんで……) 			<ul style="list-style-type: none"> 一、汽車 (前出) 一、鳩は軍人 (前出) 一、僕は軍人 (前出) 一、櫻の花 (前出) 一、櫻 (さくらが咲いたく) 一、君が代 (前出) 一、天長節 (前出) 一、牛 一、ひばりは歌ひ 		<p>僕は軍人に海軍の歌を附す</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 一、金太郎 (前出) 一、桃太郎 (桃から生れた……) 一、おたましやくし 一、蠶 一、端午 (大きな口に……) 一、日本の兵隊さん 						

月 九	月 七	月 六
<p>一、兔 よ 兔 一、樂 隊 一、プ ラ シ ョ ン コ 一、お 月 さ ま 遊 ば う</p> <p>(たつたかた……)</p>	<p>一、水 あ そ び 一、夕 立 一、海 の 上 祭 一、お</p> <p>(水を澤山くんできて) (ドン／＼太鼓がなつてゐる)</p>	<p>一、お 池 の 金 魚 一、お 池 の 蛙 一、ホ ー ト 一、蝨 か へ 一、宿</p> <p>(ホートなこぎませう) (ほたるこい／＼)</p>
<p>一、お 月 さ ま 遊 ば う 一、月 一、ご も ん 一、お 星 様 一、軍 艦 一、名 の り 遊 び</p> <p>(前出) (まるい／＼まんまるい) (東の空には……)</p>	<p>一、噴 水 一、水 砲 一、夕 立 一、小 川 の め だ か 一、海 の 上 一、蜻 蛉 一、海 水 浴 一、お ま つ り 一、蟬</p> <p>(前出) (前出) (前出) (前出) (とんぼ／＼飛べ／＼とんぼ) (前出)</p>	<p>一、大 き な お 日 様 一、蝨 一、し や ぼ ん 玉 一、七 夕 一、蛙 顔 一、朝 顔 一、牛</p> <p>(前出) (フワ／＼) (今日ばうれしい) (寒い間は地の中に) (きれいな／＼朝顔が) (お庭の竹に……)</p>
<p>月は新作 軍艦 一部改作</p>	<p>お祭は新作</p>	<p>七夕ハ三ノ歌ヲ 省クモヨシ</p>

一	月 二 十	月 一 十	月 十
<p>一、風の兵隊さん 一、寒い時 一、ホーホケキヨ (小さい子……)</p>	<p>一、お正月 一、電車と汽車 一、お馬は早い (お馬は早い) 一、一月一日 (今日ばうれしい)</p>	<p>一、紅葉 (赤いもみぢ) (かり〜とんで来た) 一、秋の庭 (かぜがさあ〜) 一、猫の子</p>	<p>一、飛行機 (あれ飛行機が……) (あがる〜) 一、お日様 (アレ〜あそこに) 一、かくれん坊 (お國は日の丸) 一、明治節</p>
<p>一、お馬どう〜 一、寒い時 (前出) 一、僕の歌</p>	<p>一、手まりと凧 (トン〜手まり……) (たこ〜あがれ……) 一、お正月 (もういくつれと……) (お正月のお供に) 一、餅つき 一、一月一日</p>	<p>一、演習ごっこ (前出) 一、電車と汽車 (前出) 一、風にはつば 一、お手々を叩け (奈良の大佛さんに) 一、三羽の雀 一、曲り角 一、かけくら (前出) 一、雁</p>	<p>一、飛行機 (僕が作った……) 一、日本の男兒 一、お山の鬼 (前出) 一、明治節 (前出) 一、コケツッコ 一、籠の蟲 一、汽車あそび (これから一緒に汽車あそび)</p>
		<p>題名戦争ごっこ 演習ごっこと改名</p>	

月 三	月 二	月
一、頭字あそび 二、送別の歌（妹弟とかはいがり） 三、既習練習	一、雪やこんく 二、雪あそび（雪や一升……） 三、首ふり人形 四、おひな様（上のだんには……）	一、紀元節（昔神武天皇……） 一、相撲（土俵が出来た） 二、雪あそび（前出） 三、あられ 四、紀元節（前出）
一、終了の歌（親とも思ふ先生や） 二、既習練習	一、雪だるま（出来た） 二、進軍ごっこ 三、人形 四、とんびり 五、雛まつり（けふはうれしい三月三日）	
		送別の歌一部改作

「幼稚園唱歌集」 大阪市保育會編

右の材料の歌曲及伴奏、その出所、取扱上の注意の外に幼児用のマーチ二十種を取纏めたもの。

（フレイベル館取扱實費二圓）

「あそびませう」 マーガレット・アール・ペイン編

第一部歌のあそび、第二部遊びの目的を持つた歌、第三部あいさつ、第四部聖歌、第五部季節の歌、第六部リズム、全五十三篇の歌曲。子供に適當な歌曲や歌あそびを、現在米國の幼稚園や家庭で用ひてゐるものから撰擇、紹介したもの。

（東京市京橋區銀座教文館發行二圓）

名古屋幼稚園大會に行く

よ し こ

動搖^{うごま}止り、はたと眼さめぬ午前二時驛夫の聲を近々ときき(寢臺車)

千人の心一つに進みゆく意氣ほこらしや幼稚園大會

名古屋^{なご}市長の議長ぶりやあざやけし千人の意氣にひたごあひたる

その人と相識らねども會毎に親しき瞳そここゝに見る

公會堂廊にホールに幼稚園の小集團のつらなり續けり(休憩時)

師と博士と保育道^このこと語り給ふ舞臺見る目のうつろなりしわれ(餘興場)

旅宿にて

升半(茶の舗)に電話をかくる女性^ひの聲優婉なりとききほけてゐし(この地の言葉耳に柔かなり)

つくばひにしづくする音を支那忠のこの朝にしてしみじみと聞く

つくばひのかたへ一もと山茶花は白き花なり後にして知る

人を待ちて旅宿^やにひとりとなりし時心漸く身にかへり來ぬ(朝より多くを人にあひたれば)

廊にきく人のけはひにうたゝねの夢よりさめて秋の夜を知る

夜の名古屋

この市街誓文拂の赤き旗もの珍らし 店々を見る

子オンサインはいまだ一つなり中京の夜街をこの舊友とゆく
佛像の奈良へひとりの旅すると云ひたる友と夜の驛に別る

幼稚園にて

ロシヤ迄行くど云ひし子積木もて小砂利が上をひた走り行く
くづれ又くづれ重ねて完成す午後の砂場に積木の鐵橋

折に

人交はり淡きがよしと知りつゝもそれとは心裏表うらはらを行く

老若の保育者

氏 原 銀

幼児は老保育者よりは若き保育者に近寄らんとする傾きあり、之れ幼児自然の表はれなり、何となれば若き保育者は容姿美しく其動作も敏捷活潑にして、何んぞなく快感せらるるを以て、自己

の元氣なる相手として之れに接解せんことを。老保育者は之れに反し容姿は幾分美質を缺き、其動作は若き者の如くならず、活氣は漸く減少に傾かんとす。依て幼児は先づ若き保育者に近付かんとす。

若き保育者は此機會を逸せず、幼児を教育的に迎へて保育に努力せば比較的勞力少くして良成績を擧ぐるに至らん。幾ら保育に熱中するも幼児の親まざるに於ては詮なし、よろしく此期を利用して

奮勵あらん事を希望す。併し兒の親しむに委せて足ることせず、常に保育上の研究を其教育學心理學等の理法に従て精進して保育に當られん事を。然らざれば眞正なる效果は得られざるなり。

老保育者の中にも若き保育者の老ても及ばざる美質を有する者あり、其永き經驗より得たる實際的能力に富みたる上に常に幼児教育上の研究を怠らず、其動作は若き者の如くならざるも幼児を失望せしめざる程度を保ちて幼児に欣慕せらるる者あり、若き保育者は此保育者を模範とし尊敬して斯道の研究に努力せられん事を。

左に四十五歳の老保育者の最初は幼児に嫌はれ

しも其保育のよろしきにより終に母の如く慕はるるに至りし實話を記す。

大阪の或る幼稚園の若き保育者ばかり居る所へ突然老保育者の赴任せしに、幼兒一同は幼稚園の先生は皆若き者なりとのみ思つて居た處へ老保育者の來たので皆異様の目を以て之れを迎へたり。此老保育者の受持は最初の組なりしが、其中の或兒は此老保育者に受持たるを好まず、お婆あさんの先生はいやと言ひて登園するも保育を受けず、時間中は附添人控所或庭園に於て勝手に遊べり、其他の保育を受くる幼兒も何んごなく不満を感ずるものの如く、此状態は幼兒に取りて誠に氣の毒の極みなりし、此状態に對し普通の保育者なりせば其成行きに委せ終らんも、此老保育者は其校長の見る所ありて採用せし者何ぞ此儘に過ごすべき、爰に於て老保育者は我赴任日尚淺くして誠意の貫徹せざる事を願み、尙我老態度の幼兒の見

なれざる處よりして親み來らざる幼兒の意向の原因を同情推察し、保育學の理法によりて研究考案以て徐ろに之れに當り、日夜心を摧きしに漸々此努力は報いられて、幼兒の心に疏通し、終に幼兒一同は日々楽しく登園する様になり、保育者と幼兒の間柄は恰も母子の如く其母性愛の力は幼兒心身の凡てに及ぼし偏癖ある者は圓滿となり、元氣乏しき者は活潑となりて家庭よりは感謝し來る様になり、校長よりも賞讃を得て大に面目を施せり。之れ此老保育者の多年の經驗に安んぜず常に斯道の研究を怠らざる幼兒教育學の力なり、尙保育者の資格の一として子を産みて其母性愛の經驗ある者と言ふを聞く、此老保育者は此經驗を有したる者なれば其幼兒に對する特殊なるものの有りしならん。

保母の資格の子を産みし經驗者と言ふ事は之を一般に望む事は出來ず此無經驗者にして有名な

る保育者有り、又此有資格者にして無資格者に劣れるあるを附記す。

外國人にしてミスなる老保育者の我國保育に盡瘁せられ、着々好成績を擧げられ居る者多し、其容姿態度は皆快活にして佳質あるを見る。之れ其體質の我國婦人と異なるによるものならんか、其教養上からの發露ならんか、其洋装の輕快によるものならんか、兎に角本邦保育者に見られざる特質ある、懐しみを感ずる事の常に羨ましきに堪えず。此容姿態度の保育上にあづかる力ある事をいつ見てもうらやまれたり若やきて

いとうつくしき教へ姿を

終に一言す、老若の保育者共に其健康と衛生上には注意を深くして當られん事を。此健康上よりの勢力の活氣の保育者の態度に利益多き事を。所謂健康美の尊き事を。

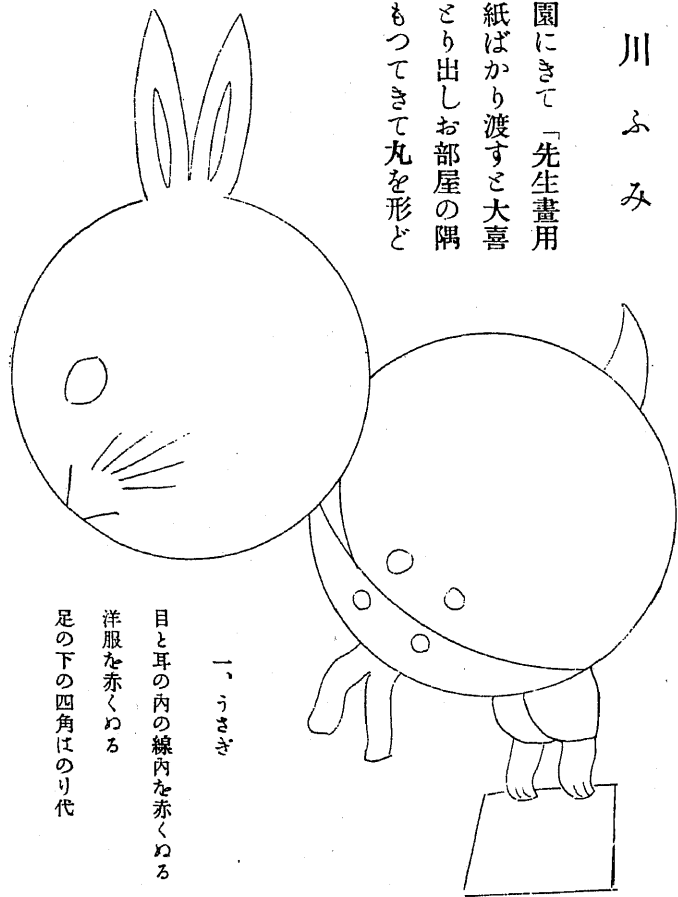
高市次郎氏の歸朝

嚮に米國デンブー市に開催された第四回世界教育聯盟會議に、帝國教育會長林伯と共に日本代表の一人として參列したフレーベル館の高市次郎氏は、嘗て本誌にも掲載した如く、同會議幼兒教育部會に於ける「玩具による教育」の發表を爲すと共に、親しく各國教育者と意見の交換を爲し、爾來歐洲各國の幼兒教育の實狀視察を了し、去る十一月一日神戸入港の郵船靖國丸で歸朝、同二日東京驛に多數知名の教育者知己に迎へられて無事歸着した。

丸の動物

及川ふみ

二郎さんがある朝早く幼稚園にきて「先生畫用頂載」といふので八ツ切二枚紙ばかり渡すと大喜びですぐお道具箱から鉛筆をとり出しお部屋の隅からおまゝごのお鍋の蓋をもつてきて丸を形どりこれに目鼻をつけてお人形の顔にした。それから又丸を形どつて可愛らしい兔をつくつた今度の兔はさつきのお人形よりも一段と可愛くあどけなかつた。私も二郎さんの真似をして兔をつくつた、そのうちに二三



一、うさぎ

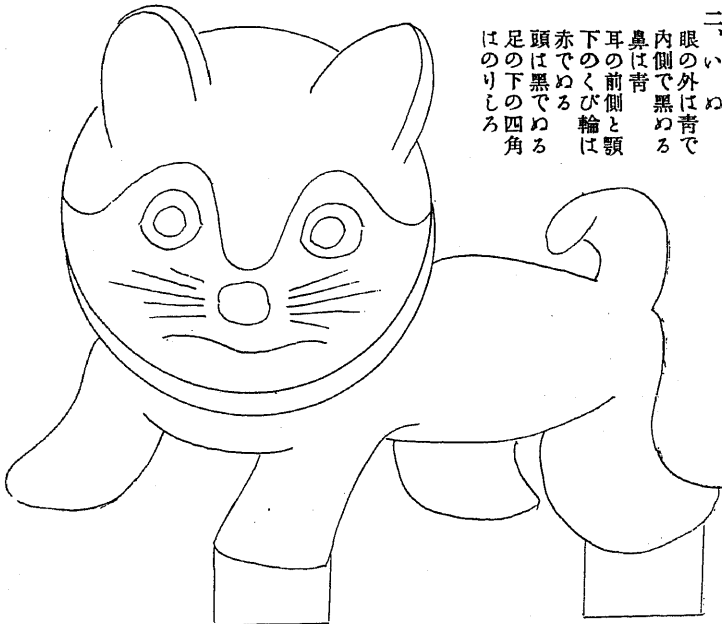
目と耳の内の線内を赤くぬる
洋服を赤くぬる
足の下の四角はのり代

人づゝ登園して来る、どの人達も皆このかたまりが何をしてゐるのかとバスケットもそこ〜にしまつて大急ぎでよつて来る。兔をつくるこのかたまりを七八人までにして交代してつくつて見やうとしたがどう〜男兒は皆つくり出した。

兔のあとは犬や猫、ひよこなどどつぎ〜の丸の動物が出来るので丸の動物の運動會をつくる事にした。

これを完成して寫真にでもとつて皆さんにお目にかけたいと考へたが今月號には間にあはなかつた。

挿圖によつてその一例を見ていたゞきあとは幼兒に自由に丸を形どらせて顔や手足をおかゝせになると面白いものが出来る事です。



二、いぬ
 眼の外は青で
 内側で黒める
 鼻は青
 耳の前側と顎
 下のくび輪は
 赤でぬる
 頭は黒でぬる
 足の下の四角
 はのりしろ

三、れこ

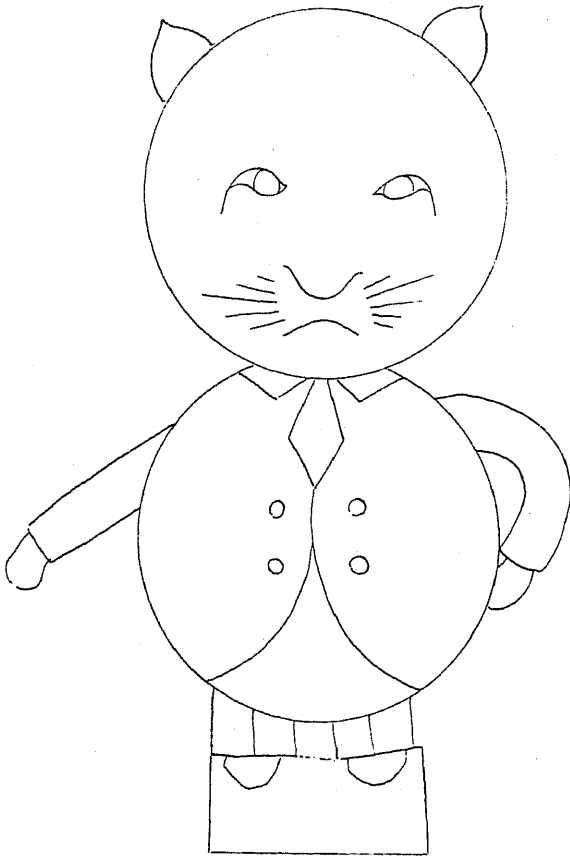
目の内の丸を

黒くぬる

洋服は黄色

子クタイは赤

ズボンも黄色



全國兒童營養週間と
 deficit 兒童保護募金デー

中央社會事業協會の肝入
で、この十五日から向ふ一
週間、全國一齊に、兒童榮
養週間が行はれる。この時
に當り東京聯合婦人會で
は、貧困兒童缺食救濟のた
め十五日、折柄の七五三の
祝ひ日を期して、街頭に立
ち、缺食兒保護募金をする
ことになつて居る。

定 規 文 注 告 票

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿竝に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に
 - 一、本誌の購讀及び廣告に關する通信竝に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會**
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵券代用の場合には總て一割増）
 - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に「前金切」の印章を捺捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和六年十一月十二日印刷納本
昭和六年十一月十五日發行
幼兒の教育 第三十一卷第十一號

不 許 複 製 禁 轉 載

編輯兼 倉 橋 惣 三
發行所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

印刷者 柴 山 則 常
東京市本郷區駒込林町百七十二番地

印刷所 杏 林 舍
會社 杏 林 舍

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金貳拾五圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

幼稚園の先生がたには絶好の羅針盤！
各園児の御家庭にも是非お備付下さい

大阪音楽學校長 永井幸次先生 監修
大阪市東區保育會 委實 編纂

幼稚園唱歌集 全巻冊

四六倍版筆記
寫眞凸版印刷
鮮明注意懇切
實費金二圓
送料金十二錢

本歌曲の出版は營利を目的の仕事ではありません。非賣品でありまして、御希

望の方に實費でお頒け致しますのであります。

□曲目百曲を〔年少組〕に分け、各月に配當し、伴奏附として、曲毎に〔注意〕事項記載を附録として、幼稚園用曲目約三十曲を掲載して御座います。

申込所

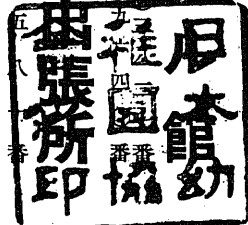
東京・神田・一ツ橋通
教育會館 内

株式会社 フレールベ

大阪・西區・靱下通
一丁目二十三番地

フレールベル館大阪

電話 土佐堀三



昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
（毎月一回）十五日發行

昭和六年十一月十二日印刷納本
昭和六年十一月十五日發行

定價三十五錢